無産階級戰闘雜誌

# 進め

相呼應して倒閣の烽火をあげよ

四月號


朝鮮共産黨判決書全文

田中反動内閣を倒せ……卷頭言

時評─合同問題最近の展開

　　　軍縮會議と軍備全廢案……

分裂主義者の策動と總選擧後の無産運動の任務……上杉定義

敗戰記……福田狂二

勞農黨の裏切行爲の眞相……一農民

總選擧の教訓と戰線統一の鍵……吉田源藏

打倒分裂主義……

全土戰報……

メーデーの準備はよいか

無産候補者の無い地區に於ける無産階級の選擧權に就いてのヘガキ問答……

討伐同盟を守れ……吉田源藏

朝鮮社會運動概觀……金浩 永譯

進め社だより……進め社同人

講座─資本主義社會主義……神庭仲之介

童話─泥棒と番人……松本淳三


定價一錢


Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 進め社本部取次書目

（壹部壹圓）

**青野季吉　解放の藝術**
◇氏の一評は文壇の一波、故に曰、青野の論季吉の発、評界文大地震と

**幽霊讀者**
◇勞農藝術幽霊の鬼才山田清三郎氏の著也、プロ文學の典型暴露小説の開山、鳴呼氏の活躍と大新聞裏面

**幸德名文集**
◇文豪秋水幸德の名文は世既に定評あり後世評して敎科書中の敎科書國民文學の精髓民必携の大寶典と稱する誠に故ある也、別に宜傳用書半額版も發行す

**秋水書簡集**
◇本書憤激の某反動大家泣て曰『志士の決心同志の友情われ讀むに堪えたり孝子の純眞烈母の覺悟われ遂に泣くに堪えず』と、宜傳用書半額版ある所以か、

**新消費組合論**
◇斯界權威の博士教授學者實際家共同執筆組合長新居格責任特輯、既に久しく絕版、但普及宜傳半額版あり

**地震憲兵火事巡査**
◇蓋『久さん未遂で無期懲役、甘粕三たりて假出獄』也

**世界　社會運動史**
◇石川三四郎氏『拙著定價六圓の西洋社會運動史千餘頁を簡潔に壓縮した良書の標本廉價の見本だ』

**ユートピア集**
◇幾度か企てられ幾度か中止せる難業を著者守田有秋氏の努力が今や之を完成した。1思想2古代及中世3近世4日本5比較の五篇廿章

**岡陽之助著　日本　社會運動史**
◇興味中心文章本位の日本正史運動史論1搖籃2發展3活躍4闘爭5反動6分裂六篇六時代。波瀾重疊の事件と人物が躍動す

**佐倉啄二　製絲女工虐待實史**
◇著者『製絲工女は皆細井氏女工哀史の紡績工女を羨んでます』『喝！』、巧妙の搾取戰慄の暴虐女工哀史以上の虐待史』
◇藤森氏『喝！』
◇山崎伯爵『僕も蠶蛹を食べて製絲場で働いた。此事實は全く本當だ』

**近藤榮藏著　露國　勞働運動史**
◇著者は勞働運動史の權威、彙に曉民共産黨事件で保釋中日本共産黨事件で入露亡命、專ら露國勞働運動史を研究滿五年の蘊蓄を傾けたる此の一卷九章三百頁、蓋し天下の渇を醫するものあらん乎

**小川未明社會小說集　彼等甦らば**
◇著者は明治大正昭和を通じて最も特異な地位を占むる作家文壇生活二十有餘年、倘ほ日の純眞熱情は聊かの曇りも見せぬ。本書收むる處の十有七篇、皆之れ氏最近の雄篇傑作。誰ヵ追隨を許さん哉。

**中西伊之助著長篇戲曲　武左衛門一揆**
◇著者曰、武左衛門は佐倉宗吾の様な義民の類でない。彼は近代農民運動の先驅者革命家であつた。本書全篇十有七景は彼れの逃出よりギロチン迄の梗概。主人公の傀儡は『門負する。』之れは僕空前絶後の會心の作々。

**山内房吉新著　社會思想解說**
◇無產階級的智識の武器を求めるム無產階級必備の大寶典！古今東西各段階に於ける各種社會思想の精密なる大辭典！各種社會主義、社會主義者、社會主義術語へへの大字引！內容の精密正確、文章の流達平易！

---


月刊一部二十錢

# 工場と鑛山

發行所
東京芝公園五號地ノ四日本勞働組合同盟



# 平民病院

專ら中流階級、薄給者、勞働者、店員、學生の爲め診察治療に從事する病院で、本院所在地左の如くであります。時間は本院午前八時より午後五時迄。

**本院**　東京市京橋區木挽町出雲橋際、電話銀座一七一一番（事務室及一般用）銀座一一〇二番（院長室用）

**駒形分院**　東京市淺草區駒形川岸（電話淺草三六〇〇番）時間は正午より午後八時半迄。


## 會計係より

本誌の讀者たらんとする諸君は左の規定を必ず實行して下さい。

一、見本請求は十錢切手を封入する事
二、用件は簡單明瞭に書く事時候見舞など必要なし
三、住所氏名を明瞭なるべく楷書で書く事
四、本社は集金郵便を用ひないから一切前金の事
五、誌代拂込みは振替にて送る事
六、住所移轉の通知には舊住所併記の事

【進め社の振替口座は東京六九八五三番】

申込は整理の都合上本部會計宛へ願ひます。

**支局の誌代滯納者はすぐ送金あれ**


月刊

# 法律戰線

◇階級闘爭の合法戰術！
◇暴壓法令の突破逆用！

一部十錢・半年六十錢・一ヶ年一圓廿錢

發行所　東京・高田町雜司ヶ谷八一五　振替東京第三六四五五番



淺野研眞主幹

社會科學月報

# ソシウス

一部五錢　送料二錢　一年六十錢

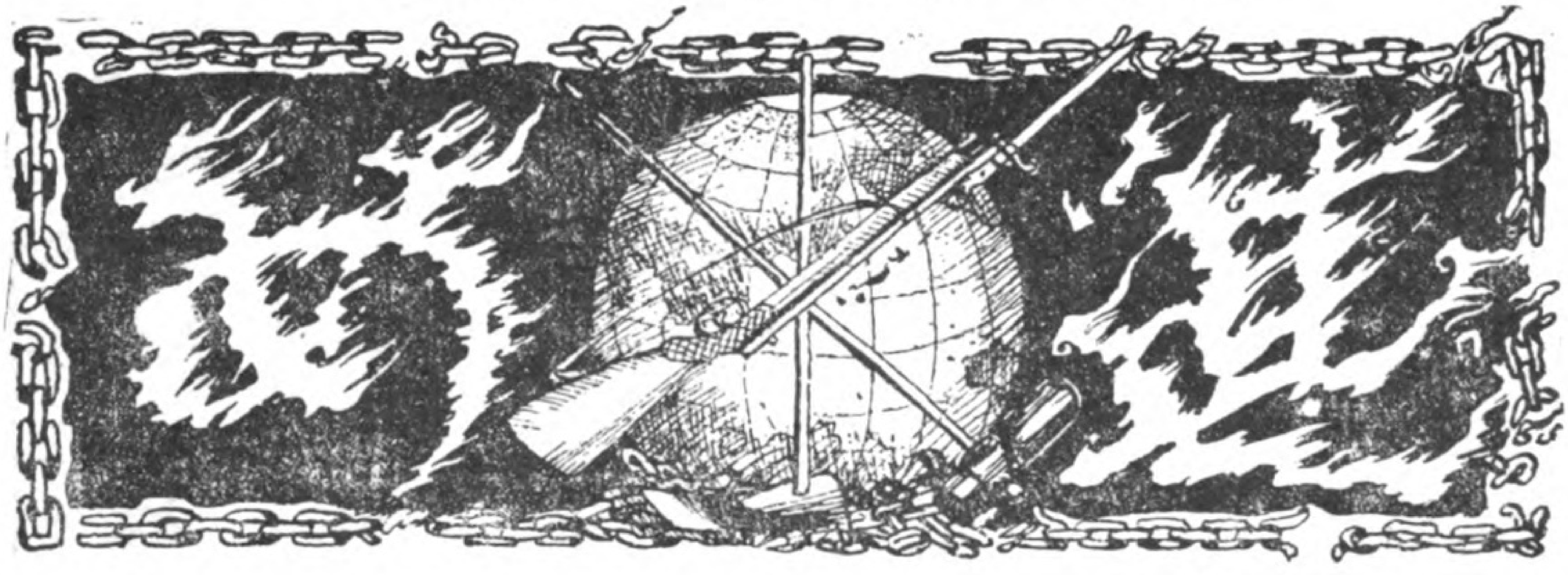
『ソシウス』既刊號要目

◇創刊號（二年十月）產兒制限號
◇第二號（二年十一月）宗教批判號
◇第三號（二年十二月）教育批判號
◇第四號（三年一月）藝術批判號
◇第五號（三年二月）農村問題號
◇第六號（三年三月）道德批判號
◇第七號（三年四月）婦人問題號

東京青山アパート七九號

發行所　ソシウス社
振替東京一三八九番

萬國の無產者團結せよ



第六年■戰鬪■進め■雜誌■第四號

# 田中反動內閣を倒せ

暴風が日本の無產階級運動の上に吹き初めた。この大暴風の中に、あらかじめ備へられてゐた××××がその最も大規模な範圍にわたつて狂暴な姿をのさばり初めた。ブルヂヨアジイとその走狗反動主義者は拍手をもつて聲援してゐる。

支配階級の企圖は決して氣まぐれから出發したものではない。國際關係におけるソウエトロシヤ對反ロシヤ聯盟、支那革命の進展、殖民地の世界的××の形勢、こうした國際的狀勢は世界の帝國主義者に何等かの豫感を感じさせてゐる。殊に支那革命及び日本無產階級の進出は日本資本の致命的問題である。

日本は世界における有數な帝國主義國である。されば、世界のどの帝國主義國においても然るが如く、反資本主義運動のすべてに反對する。しかし、各國は寶庫に對しては鋭く對立してゐる。吾等は帝國主義戰爭の危機と戰はねばならぬ。

扨て、國內の政治形勢を一瞥するならば、過般の總選擧は事實をもつて、中間階級の沒落、二大階級對立の勢を敎へた。勿論、無產大衆の多くは既成政黨に投票したが、二大階級對立の深刻化は早疑ふべくも無い、少數ではあれ吾等の組織の尖端は議會に侵入した。

二大階級對立をより發展せしめねばならぬ。

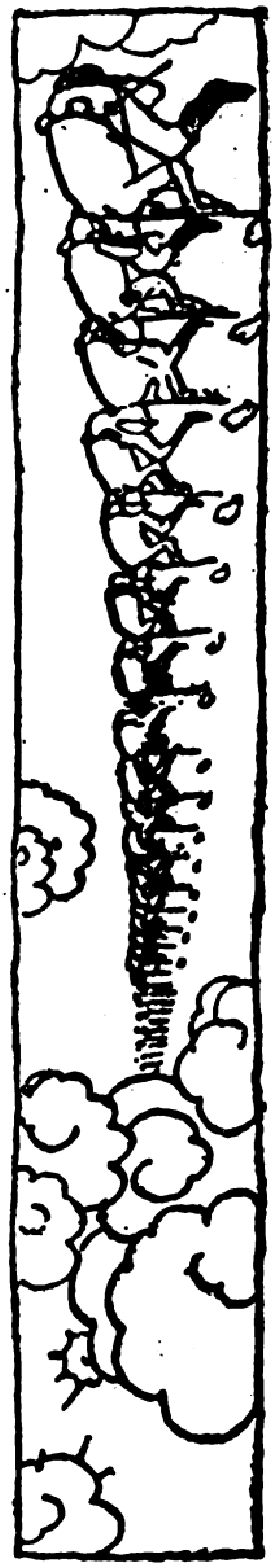
支配階級は、やみがたき既成政治への民衆の反抗を社會民主主義の埒內におしやらんとしてゐる。そして、世界にほうはいたる××、反××の對立を糊塗せんとしてゐる。政民の兩黨の伯仲の勢力は政界の上にだゝならぬ暗雲をたゞよはせてゐる。吾等は敵の陣營の動搖を好む、民政內閣にも反對だ。しかし政友の存在は最早許す事が出來ない。特別議會における無產黨獨自の不信任案は政友に乘ぜられる危險がある。民政黨のそれを利用せねばならぬ、院外相呼應して倒壞の叫びがあがらねばならぬ。

田中反動內閣を倒せ。

治安維持法卽時撤廢。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



## 時評　合同問題最近の展開を見る

（一）

合同問題は政黨たると、組合たると敵ふてゐるやに見える。東日のゴシップ欄は「無產黨とは合同論を餌に自黨の宣傳をするものを云ふ」云々の與太を飛ばしてゐる。事實、現在迄の合同問題は、そうした結果のみを見せてゐた。しかし、樣々な障害策略によつて有耶無耶な結果のみを見せてゐたもの、、其の背後にはかゝる結果にもこりない所の止み難き大衆の聲がある事は爭はれない。さて、合同問題は現在如何に展開してゐるか。

之を、無產政黨の方面からならば、勞働農民黨は飽く迄無條件合同論を主張し、日本勞農黨は宗派主義排除の單一絶對條件を固持して讓らず、社會民衆黨は勞農、日勞の指導精神が、共產主義であるとを非難し、他黨が社會民主々義に方向轉換せざる限り、反對だと云つてゐる。日農は、勞働者、農民の指導權の同一を條件として日本勞農黨との合同に向つて極めて危つかしい足どりではあるが歩みの近よりつゝある。地方無產黨の合同說も盛であるが、聲のみ大にして的確なと云ふ迄には行つておらない。勞農黨の無條件合同論は多數派、即ち「社會民主々義への批判の自由」を求むる合同論と、その合同論を極左翼の思想的表現であるとなし、そうした目的要求を排除した合同論を唱ふる少數派との二つの對立を有してゐる。前者は方向轉換せる福本主義の主張であり、後者は勞農黨の指導方針の行詰りから勃興し、思想的に山川一派の主張と合致する。福本派は山川派と日勞黨とは甚だ濃厚な氣脈を通じてゐる如く論じてはゐるが、その內部的關係はおいて思想上から觀察すれば、日勞黨が合同の單一絶對條件として極左翼の實踐的分裂主義を排除せんとするに對し、山川派はかゝる條件を廢止した無條件合同論を強く支持して來た。そして、山川派は長い間排撃され乍らも、飽くまで支持して來た勞農黨の一部にその思想的反映を表はし初めた。日勞黨は勞農黨內の二潮流を如何に自派に有利に轉換せしめんかに汲々としてゐる。社會民衆黨、日農黨はこうした問題に冷眼をもつて見てゐる。

勞農黨內部の一一派の對立は、一方が××主義者の指導を強く主張するに反し、後者は××主義者の指導すべき事は固持するが、大衆黨の合同の爲めには、その頭からの強き支配力を一時ひそめ合同の進展と共にその指導の正しさを大衆に知らしめん事を主張する。日本勞農黨も××主義者の指導權をうたがふものでは無いが、極左翼の即ち勞農黨幹部派の過去における實踐的分裂策動、殊にかの總選擧における協定破壞行爲等の歴史よりして、無條件合同は決して眞の合同の礎を固めないと見てゐる爲め單一絶對條件を固持する。若し、かゝる宗派主義が無いならば、日勞黨は無條件合同を支持するだらう。思ふに、山川派と日勞黨の相異點は大衆より離れてゐる離れてゐないの相異から派生したものである。

勞農黨幹部は日勞黨の合同論を目して前衛の指導權を沒却するものと非難の矢を放ち、日勞黨は之に對し、運動の攪亂者は前衛にあらずと報ひてゐる。

かくして、合同問題は政黨の方面では現在停滯の姿で、共產主義者、組合主義者、社會民主主義者を容認する大衆黨の出現は未だしである。たゞ、最近突如旋風の樣に起された大事件が二つの合同問題の上に如何に影響するであらうかは、今こゝでは論じない。さて、かく指導精神の相異によつて合同の進捗は望まれない時、合同への波濤は先づ散も手がゝりの好い場所より侵入して實現しようとする。農民組合の合同問題が即ちこれである。

（二）

農民組合が戰線統一を望む事は、新方針の樹立を望む事を示す。過去における分裂の苦惱とおそひかゝる農民組合の不振、未組織農民の組合への不信、亦總選擧の農村の不成績が戰線統一を要望するに至らしめ、新方針樹立の必要が白熱化するに至つた。政黨の合同より、農民組合の合同が比較的容易であると云ふ事は、政黨と組合の相異のもたらすところである。

政黨は農民、勞働者、小市民等、そのあらゆる層を包容し、その指導が全無產階級的であり政治的であるに反し、農民組合は農民の經濟的解放



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の問題であるから、元來政治上の意見の對立があつても分裂すべき性質のものでは無い。組合即ち政黨の見解は從來の方針の誤りであり、この見解の爲めにこそ分裂が合理であるとされてゐた。組合を政黨の道具であると爲す意見は今や直に撤廢され、組合の獨立性を高唱しなければならぬ。しかし、此の事は組合員から政治運動をもぎ取るものでは無い。組合員がより階級的鬪爭に進出する爲めにはこぞつて政黨に參加させねばならない、要は、政黨と組合の機能よりして兩者の截然たる區別が認められねばならない。政黨の分裂によつて、組合の分裂が惹起されてはならない。かうした過去の誤謬に對する精研が、組合そのものゝ機能を見究め方針の樹立が必要とされて來た。今一つ新方針の基礎となるものは、農村の現實に即した運動の必要である。この問題に就いて從來犯した誤謬はプロレタリヤへゲモニーの機械的な農村への侵入であつた。資本主義社會においてはプロレタリヤの優位は論ずる迄も無い當然さであるが、この都市勞働者式の運動を天下り式に農民運動におしつけた結果は、農民の心理、現實の利害と即せざる結果を生んで了つた。かくて、日農の堅壘として誇られた香川縣の動搖等の著しき事件を突發せしめるに至つた。亦近來の組合運動が頭ばかりの運動になり勝ちなのは農民組合の機能をやゝもすれば減殺せんとするプロレタリヤ、へゲモニーの機械的侵入の結果であると見てゐる。大山郁夫氏の選擧戰後香川の農民の動搖はこの問題と關聯して重要視されるべきものと思ふ。

去る十七日の日農、全日、全日農同盟の合同會議はこのプロレタリヤ指導權の問題を中心として可成り論議された樣であるが、農民組合それ自身、亦農民それ自身資本主義社會においては、プロレタリヤの優位を否でも應でも認めねばならぬ樣になつてゐる。それは資本主義社會が命令する。かゝる狀態に對して農民がやゝもすればこの命令に服從しないかの樣に、頭から強制しようとする態度は農民組合の發展上あくまでつゝしむべき事ではないか。プロレタリヤ、へゲモニーの問題は全然政治上の問題に屬するものであつて、農民組合それ自體においては左翼強調せずともよい事柄である。之を強調するならば矢張り政黨即ち組合と見る誤謬から脫してゐない事を示す。そして、組合の戰線統一に職分を越えた問題を引さげて合同の前途を暗くさせるに過ぎない。組合運動の機能そのものを問題にする事によつて、合同會議成立の可能はあり、合同は實現される。

農民組合の機能は、農民に共通の利益の上に立つた經濟的な私利的な鬪爭をするにある。若し、かゝる性質を失はゞ、それは農民組合ではあり得ない。この農民組合の本質の發揮は、かの××の前夜に勃發する樣な運動によつては望み得ない、この運動方針の表現が合同會議における日農派のプロレタリヤ、へゲモニーの機械的強調となつて表はれてゐる。この機械的強調は農民組合戰線統一の新方針と一致しない。新方針は組合の本質的機能を發揮する事によつて、未組織農民を獲得しより階級的運動に迄發展せしめるものであり、プロレタリヤへゲモニーの實踐上における承認である。

農民組合の戰線統一は組合の本質的運動に引戻す事によつて可能であり、その爲めには過去の誤謬を離脫し切らない思想を克服せねばならない。プロレタリヤ優位の機械的ふり廻しより行詰りつゝある農民組合運動の戰線統一運動は、過去の誤謬に執着する思想の撤底的叩きこはしによつて進展するであらう。

兎に角、農民組合は合同の前後を彷徨しつゝある。合同の實現は、恐らく農民組合を最初とするであらう。農民組合の合同が若し成立したなら、政黨の合同も又何等かの進展を示さずにはおかない。

（神庭）

## 軍縮會議と軍備全廢案

サウエートロシヤ以外の他の列強國は、資本主義最後の段階たる帝國主義の段階に入りつゝあるは、最近ゼネバに於て開かれた軍縮會議に依て明瞭と知る事が出來る。諸強國は表面は不戰條約とか非戰條約とかに依て丁寧して、公然の對立衝突を無理にゴマかさんとし一般無産大衆の反抗をも省みず、帝國主義的侵略戰爭のため翻弄してゐるのである、米國に於る海軍卿ウイルバー氏が提出せる尨大なる海軍擴張案の如きは最も其の帝國主義的色彩を明瞭にせしめるものであつた。この資本家階級の横暴に對する米國民衆の反抗の聲は單に平和主義者、教會運動のみでなく、全米國の實業界の各方面より、婦人階級に至る迄其の非を鳴らして、米國議會に對する猛烈なる電報、抗議文を洪水の如く送りて、大海軍主義者の色を失はしめた。かくの如く激烈な輿論の反抗に遭つた事は、三十年間において曾つて無い現象であると二十日發のワシントン通信は報じてゐる。斯くの如く一般大衆が反抗するのは何故であるかといへば軍備の擴張と共に各國資本主義は競つて、其の強大なる武力を利用して弱少植民地を侵略せんとしつゝあるからである。

我國の植民地は、朝鮮、臺灣、滿洲であるが此植民地が産み出す巨大な富源と幾千万の我等の兄弟である植民地民族の極度の××のみによつて日本資本主義は繁榮して行きつゝある。

（十七頁へ續く）

# 朝鮮共産黨判決書全文

四月號の締切後になつて、屢々本誌に掲載した事のある、幾多の拷問事件を捲き起した、朝鮮共産黨事件の判決書全文が朝鮮日報に連載されてゐるのを發見し、直ちに同人の手を煩はして譯載する事になつた。今月はその一部であるが、來月號には全部掲載する。(編輯部)

◇理由

被告等は以前より、社會運動に參加し其大半は本來共産主義に共鳴し、又は朝鮮民族主義者より共産主義に轉化したるもので、悉く我朝鮮の現代社會制度に對し精査考究する處なく、徒に民族的偏見に被促され僅にその片端のみを邪視して、其社會組織に幾多甚大なる缺陷があり、漸次必至的に朝鮮無産大衆の自滅を誘致する最中であると妄斷し、從前の所謂朝鮮民族解放運動に據りては到底所期の目的を達成する事が不能であることを覺知したるため、寧ろ純粹なる該民族解放觀念に共産主義的思想を混和した一種の共産主義運動を敢行するに如かずと爲し左記一、二の犯行を爲した。

第一(一)被告金在鳳は大正十三年八月中露國より秘密に使命を帶びて入鮮したる同志鄭在達より朝鮮の共産黨を組織せよといふ勸誘を受け爾來金燦等と共に其時機到來を待つてゐた中丁度大正十四年四月中京城府内に於て全鮮民衆運動者大會を開催するを因とし金燦曹奉岩等と此機會に年來の宿望を遂行することに謀議して同人等と共に斡旋したる末、被告金在鳳、金科全、俞鎭煕、金尚珠、陳秉基、尹徳炳、宋徳滿、獨孤佺、洪眞裕、鄭雲海の十名は曹奉岩、金燦、趙東祜、崔元澤、朱鍾連等と同月十七日午後一時頃京城府黄金町一丁目支那料理店雅敍園にて會合し朝鮮に於て私有財産制度を否認し、共産制度を實現させ又は朝鮮を我帝國の羈絆より離脱する目的の下に當面被告金在鳳は其參集者一同に對して爾今共産黨組織の協議をするといふ意味の挨拶をなし被告金科全は其司會にて共産黨創設の必要を力說するや一同之に贊同し其目的の實行機關として金燦の發議に基き朝鮮共産黨と命名する秘密結社を組織し被告金在鳳及曹奉岩、金燦の三名を役員の詮衡委員に推擧して同委員をして秘密裡に被告金在鳳、金科全、俞鎭煕、鄭雲海及朱鍾建、趙東祜、金燦の七名を中央執行委員に被告尹徳炳、宋徳滿及曹奉岩等三名を檢事委員に各共選任し其中央執行委員等に同共産黨の職制及黨則等の制定を委託して同中央執行委員七名は其翌十八日同府嘉會洞金燦の隱家に於て第一回中央執行委員會を開き秘書部、組織部、政治部、人事部、調査部、宣傳部、勞農部を設置し各自の擔當事務を定め其約一ケ月後被告金在鳳、金科全、俞鎭煕及金燦等が再次同家に集合して同第二回委員會を開催して該共産黨の規約等制定に關する多少の協議を爲したれ共委員間に意見の齟齬を來し議定するに至らなかつた。其後趙東祜を同共産黨の代表者として露國莫斯科の第三インタナショナル(國際共産黨)の承認を受くべき交渉の任に當らしめ、且つ被告獨孤佺をして被告金在鳳と共に當時支那上海呂運亨方滯在中の趙東祜との通信連絡を爲さしめ一面に於て被告權五卨は同年四月十九日頃被告李準泰は同年五月頃各々京城府内に於て金燦の勸誘を受け其事情を了知しながら同共産黨に加入し被告姜達永、李鳳洙(東亞日報社記者一名李哲)も亦洪南杓、金錣洙等と共に同年十月十日頃以前已に同府内に於て其事情を熟知しながら同黨に加入したれ共右第二同中央執行委員會當時より同委員間に起る葛藤が一層增進したるを以て其善後策を講じ益々同黨の發展を企畫中偶然に官憲に發覺され前記幹部の一部は檢擧され爾後の活躍に支障を生ずるに至りたるため被告金在鳳は同月十日頃、當時其隱家である同府樂園洞金美山方で金燦と熟議したる後同月十五日頃同所にて被告姜達永、李準泰等と各別に會見して同人等に對し同共産黨の現況を告げ洪南杓、金錣洙、李鳳洙(一名李哲)等と共に同黨の幹部に對し其進展に努力すべきを慫慂したる結果被告姜達永、李準泰は同月下旬頃同府堅志洞八十八番地勞農總同盟事務所に參集して被告李鳳洙(一名李哲)は金錣洙及洪南杓金錣洙等を說得したる後依然同黨を存續發展せしめんとして密議し其當時被告李準泰は被告李鳳洙(一名李哲)及洪南杓を被告李洙(一名李哲)は金錣洙を各勸說して其贊同を受け一同は同黨の中央執行委員となり大正十五年一月下旬頃以後同府慶雲洞二十九番地具然欽方其他に於て中央執行委員會を開き其部署を秘書部、組織部、宣傳部に改定して各自の事務を定め被告全政琯は同年三月頃同府三角町二十八番地被告姜達永方にて同人勸誘を受け其事情を知りながら同共産黨に加入し被告李準泰の推薦に依り同月五日被告權五卨、金政琯も亦同中央執行委員となり各部署を分擔し、爾後同年五月中旬頃までの間に同被告姜達永方其他に於て數回同中央委員會を開催して其間已に逮捕された被告尹徳炳、宋徳滿の後任として被告洪眞裕及具然



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

欽を檢査委員に選任して京城府內に職業或は身分別に從つて第一乃至第九の「ヤチェーカ」（其本機關）及學生部、勞農部、言論機關部、思想部、女性部の五個の「プラクチ」を設け此に黨員を各配屬せしめ各「ヤチェーカ」に對しては其責任及集會日を定めて京城府の執行委員（府幹部）を以て被告洪眞裕、全政琯（一名金德）閔昌植、尹金海、吳義善等を全羅南道執行委員に被告辛命俊及金基洙、申東浩を慶尚道執行委員に被告金明奎、朴嘉弘及外一名を各々任命し、且つ前揭中央執行委員會の決議に基き東京に日本部、滿洲に滿洲部、上海に上海部を設置し金丹治、趙東祜、金燦を上海部に配屬せしめ專ら國際共產黨との連絡交渉の任に當らしめたが其後上海部を廢止して滿洲部を滿洲總局と改名し、同局に上海部の權限を附與し曹奉岩（一名朴哲煥）を其責任秘書に選任し、且つ同共產黨の豫算編成は被告姜達永、李準泰が、其黨則作成は被告權五卨、李鳳洙（一名李晳）が各擔任することに協定し被告姜達永は被告李準泰と共に三十六万三千八百圓の同黨豫算案、同豫算說明書、同豫算案請求書等を作成して此を金燦の手を經て國際共產黨に送致し被告權五卨、李鳳洙（一名李晳）は露國共產黨々則及英國無產青年會々則を參考として朝鮮共產青年會々則案を作成し被告姜達永、李準泰等は專ら黨員の募集に努力して高麗共產青年會と提携して益々共々發展に狂奔し

（二）被告趙東祜は大正十四年四月二十一日頃京城府齋洞北風會館內に於て被告金科全鄭雲海、宋德滿及馬明等に依り被告李根熏は同月中慶尚北道大邱部內に於て崔元澤に依り被告都容浩は同年六月中同府樂園洞火曜會事務所に於て金燦に依り被告辛命俊は同年七月中旬頃全羅南道光陽郡光陽面邑內里光陽勞働會館に於て被告鄭晋武より被告姜均煥は同月二十日頃同府仁寺洞新興青年同盟事務所內に於て被告權五卨より被告朴嘉弘は同年八月頃當時慶尚南道晋州郡晋州面大安洞居住被告姜達永方にて同人ゟ被告朴一秉は同月中京城府內にて金燦より被告金完根は同年夏頃全羅南道光陽郡光陽邑內被告李榮琨の妾宅にて同人より被告李承燦は同年九月下旬頃京畿道仁川府外里の自宅にて金丹治より被告朴來源は同年十月初旬頃京城府パコタ公園裡の路上にて金燦より被告沈昌烈は同月中旬頃同府齋洞全海方にて被告金昌俊より被告具昌會は同年十一月頃同府慶雲洞具然欽方にて洪南杓より被告金在鳳は同年陰十一月中旬頃全羅南道光州郡光州面西光山町勞働共濟會館內にて申東浩より被告金正奎は同年十二月下旬頃當時居住東京府下淀橋町柏木三百二十番地三木濟夫方にて崔元澤より被告權五卨は大正十五年二月上旬頃京城府嘉昌洞九十七番地同黨員趙斗元方にて同人より被告李殷植は同年末頃當時同府東大門外居住被告朴來源方にて同人より被告柳淵和、李敏行は同月中同府慶雲洞具然欽方にて同人より被告蔡來恒は同年二、三月頃同府內にて被告李準泰より被告青俊基は同年二、三月頃全羅南道光州郡光州面瑞南里申東浩方にて同人より被告爀成范は同年三月頃同府堅志洞朝鮮勞働總同盟事務所にて被告朴一秉より被告鄭晋武は同月五日頃同府內にて鄭達憲より被告高允相は同月初旬頃同府安國洞被告閔昌植方にて同人より被告魚秀甲は同月初旬頃同府明治町二丁目八十二番地時代日報社內にて洪南杓より被告朴珉英は同月中旬同府弼雲洞鄭達憲方にて被告權五卨より被告李智鐸は同月中旬頃同府齋洞全海方にて被告金昌俊より被告金璟載は同月中同府嘉會洞洪眞裕方にて同人より被告李壽延は同月中同府內にて洪南杓より被告金明在は同月中同府三角町二十八番地被告姜達永方にて同人より被告金珖鎬は同月中慶尚南道馬山府元町八番地自宅にて被告金明奎より被告崔安燮は同月下旬頃全羅南道光州郡光州面瑞南里申東浩方にて同人より被告南海龍は同月末或は四月初旬頃慶尚南道釜山府大新洞三百八十九番地李興善方にて被告姜達永より被告金昌俊は同年四月中旬頃京城府堅志洞八十八番地勞働總同盟事務所にて被告李準泰より被告李炳立は同月下旬頃同府嘉昌洞趙斗元方にて鄭達憲より被告金東富は同年六月上旬頃同府樓下洞百九十一番地にて被告金政琯より各勸誘を受け被告鄭晋武は大正十四年七月中旬までの間に被告變致文は同十五年三月五日被告愼杓晟は同月十一日被告李忠模、金演義、趙鏞周、盧相烈、李榮琨、李昌洙、朴炳斗は朝鮮共產黨の創設後京城府內或は朝鮮內にて各々其事情を知りつゝ同黨に各々加入し被告沈昌烈、朴來源、朴一秉、被告魚秀甲、具昌會、李殷植、柳淵和、變成龍、李承燁、權五卨、李炳立、金有聲は前顯「ヤチェーカ」及「プラクチ」に被告朴珉英、李智鐸、閔昌植、金昌俊、李敏行、高允相、姜均煥、趙鏞周は同「ヤチェーカ」に、各隸屬し被告金昌俊、朴一秉、魚秀甲、閔昌植、朴來源は各其所屬「ヤチェーカ」の責任者となり被告閔昌植は京城府執行委員（府幹部）被告金明奎、朴嘉弘は大正十五年三月二十六日慶尚南道執行委員に被告金正奎は同年四月四日前揭日本部の責任秘書に各任命され被告辛命俊は申東浩、金基洙等と共に全羅南道に執行委員になり其委員會を開き秘書部、教養部、組織部、宣傳部を設置して各自の管掌事務を定め光州、順天、光陽の三箇所に「ヤチェーカ」を組織し被告金有聲、曹俊基、崔安燮は光州「ヤチェーカ」に被告李榮琨、李昌洙、朴炳斗は順天「ヤチェーカ」に被告鄭晋武、金完根、辛命俊は光陽「ヤチェーカ」に各配屬し被告金有聲、李榮琨、鄭晋武は各其所屬「ヤチ

エーカ」の責任者となり其目的の實行に關し策動し

第二（一）被告權五窩洪增植は朴憲永曹奉岩金丹怡（一名金泰淵）金燦等と前示全鮮民衆大會に因り朝鮮各地より京城へ社會運動者等の上京するを機會に大正十三年八月頃以後劃策し來る秘密結社の組織を密議し朴憲永曹奉岩金燦金丹怡等が主となり其幹旋をなしたる結果被告權五窩洪增植林元根林享寬金尙珠申哲洙張順明陳秉基は朴憲永曹利煥朴吉陽金丹怡金燦曹奉岩鄭敬昌安相勳金東明（一名金光）等と共に大正十四年四月十八日午後七時京城府薰井洞四番地朴憲永方に會合したる後私有財産制度を否認し、共産主義の宣傳並に鬪士の敎養をなし引いては朝鮮に共産制を實現するがため先づ以て朴憲永は其集會者一同に對し爾今共産靑年會組織に着手せんとする挨拶をなしたる後次ぎに曹奉岩は其司會者となり同靑年會創設の必要を說き更に金丹怡は廣く會員を募集し敎養し共産主義の宣傳に努力し共産制度社會の實現を期する爲め同靑年會を組織する旨の綱領を朗讀するや一同此に贊成し一種の敎養機關として曹奉岩の發議に從ひ高麗共産靑年會と命名する秘密結社を組織し被告洪增植及朴憲永曹奉岩の三名を役員の銓衡委員に選擧し同委員より被告朴憲永曹奉岩金燦金丹怡の七名を中央執行委員に被告林享寬及曹利金東明の三名を檢査委員に各々選任し同中央執行委員等に其靑年會の職制及會則の制定等一切を委託したるが被告申哲洙が同月二十日所謂赤旗事件にて檢擧されたる爲め被告林元根を其後任として中央執行委員に選定し同中央執行委員等は同年五月初旬頃右朴憲永方に參集して同執行委員會を開き秘書部調査部組織部敎養部連絡部國際部を設置し各自の司掌事務を定め會員の年齡を三十歲以下に制限し其募集に努力し因つて被告廉昌烈は同年四月中同府觀水洞新興靑年同盟事務所にて曹奉岩に被告李炳立は同月下旬頃同府樂園洞女性同友會事務所にて同樣に曹奉岩に被告金環載は同年七月初旬頃同府貫鐵洞許憲方にて被告林元根に各勸誘を受け皆其事情を悉知しながら前掲靑年會に加入したるが一面幹部等は曹奉岩を露國莫斯科へ派遣して國際共産靑年會に加盟交涉を爲すやう計つたが其後支那上海より歸來したる曹奉岩より學生を莫斯科に留學せしめる旨の通報に接し同人より其學生派遣費一千八百五十圓を送附し來るものに因り被告權五窩林元根は朴憲永等と協議したる末共産運動の前衞鬪士を養成するがため同年九月中より同年十一月初旬頃までの間に數回に亙り會員安相勳金命時（女子）金應基鄭敬昌崔春澤高明子（女子）曹龍岩朴知成鄭炳旭鄭雲林李永祚金衛寬張晛山權五稷金一星張道明姜翰等十七名を支那安東縣或ひは門司又は長崎より乘船せしめ上海を經由して莫斯科の共産學校に入學せしめ、且つ聯盟を組織せしめ次ぎに道聯盟組織に着手し此に同志を加盟せしめて益々共産運動を進展せしむるべく策動中意外に幹部の大半が檢擧され爾後飛躍に一大支障を來したるに因り被告權五窩は此を憂慮し同年十一月二十五日頃京畿道高陽郡延禧面滄川里の同志鄭達永の下宿にて金東明と共に善後策を凝議したる後同年十二月十日被告廉昌烈、李炳立に對し同靑年會の現況を告げ同時に活躍するを勸め同被告等を中央執行委員候補に選擧し被告李智鐸は同年十二月下旬或は同十五年一月初旬頃同府內資洞金東明の隱家に於て同人の勸誘を受け情を知りながら同靑年會に加入し是亦中央執行委員候補に任命されるに至つた。被告朴珉英は同十五年三月初旬頃同府弼雲洞鄭達憲方に於て被告權五窩の勸誘に依り其情を了知し乍ら同會に加盟し同樣中央執行委員候補となり被告金環載も亦同月下旬頃被告權五窩より同執行委員候補に選任され各々時毎に同委員候補等の管掌事務を定め同年五月下旬頃迄同府需昌洞九十七番地趙斗元方其他に於て數回中央執行委員會を開催して同靑年會の發展策を考究中事實が發覺された。

（二）

被告朴來源は大正十四年四月二十日頃京城府樂園洞火曜會事務所にて金東明の被告吳洪變は同年十月下旬頃咸鏡南道洪東郡洪東邑內富興旅館にて金東明の被告盧相烈は大正十五年一月十日頃同府八判洞二百四十二番地鮮人下宿屋にて吳義善の被告關昌植は同年二月初旬頃同府內にて鄭達憲の被告崔安變は同年下旬頃に全羅南道光州郡光州面瑞南里中東浩方にて同人の被告崔一峰は同月末日頃同面西光山町光州勞働共濟會館にて被告崔安變の被告鄭洪模は同月末頃同面須奇屋町自宅にて被告崔安變の被告金載中は同年四月中右申東浩方にて被告崔安變盧相烈の被告鄭淳悌は同月三十日同道順天郡順天面幸町農民聯合會館にて被告崔安變（一名崔峰）盧相烈（一名盧明俊）被告鄭泰重は同月十日頃前示農民聯合會館にて被告盧相烈（一名盧一石）の被告許永壽は同年春頃同道順天郡順天邑內にて被告盧相烈の各勸誘を受けて、皆其事を了知しながら前掲高麗共産靑年會に加入し被告崔安變、盧相烈、鄭淳悌は全羅南道々執行委員（道幹部）となり光州、光陽、順天、求禮の四個所に「ヤチエーカ」を設置し被告崔安變、金載中、鄭洪模、崔一峰は光州「ヤチエーカ」に被告鄭淳悌、許永壽は順天「ヤチエーカ」に被告鄭順和は光陽「ヤチエーカ」に被告鄭泰重は求禮「ヤチエーカ」に各隸屬し。

（三）

被告黃守龍、金直成金尙珠は金烱善發議に基き共に大正十三年八月五日慶尙南道馬山府の海岸に集まりて密議したる後朝鮮にて私有財産制度を否認し共産制を實現する目的にて馬山共産靑年會と



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

稱する秘密結社を組織し被告黄守龍を共責任者に選任し爾來時々同府萬町被告金尚珠方其他にて集合を開いて其目的の實現に關して協議し其後大正十四年八月五日頃、被告黄守龍、金尚珠は金烱善と共に右金尚珠方に會合して同人の發意に應じて協議した後前示高麗共産青年會組織の目的を知乍ら此に同馬山共産青年會を合併して名稱を高麗共産青年會馬山「ヤチェーカ」と改め馬山第一第二の「ヤチェーカ」を設置して被告尹允三（一名尹烈は同年九月中同府内にて被告金尚珠より被告金容燦は大正十五年一月中旬頃同府成町金烱善方にて同人より被告李鳳壽は同年同月頃同町被告金尚珠方にて金烱善より被告姜宗鉉は同年六月下旬頃同府石町馬山倶樂部にて金烱善よ り各勸誘を受け其の情を知りながら右高麗共産青年會に加入し被告姜宗鉉は馬山第一「ヤチェーカ」に被告金容燦、李鳳壽、尹允三は馬山第二「ヤチェーカ」に各加盟したり、

第三（一）　被告權五卨は故李王殿下薨去當時已に共産運動者と朝鮮民族主義者等間に相互提携を策動せんとする氣運に融化しつゝあるを知り金丹治と共謀したる後將來迅速に同民族主義者等との提携を實現させ益々共産運動を發展せしむべく同殿下の國葬を機とし不穏文書を印刷頒布して所謂朝鮮獨立運動を爲さんと計畫し大正十五年五月十日頃京城府長沙洞五十二番地李[illegible]元方にて被告朴來源に其情を告げ此に加盟せしめ同被告は同月十四日頃同府安國洞二十六番地被告閔昌植方に赴いて同人を誘得し共企謀に參加せしめ更に當時被告楊在植、李用宰等に對して不穩文書を印刷撒布して朝鮮獨立運動をする旨を告げ此に加盟せしめたる後被告權五卨に其旨を告知し被告權五卨は出版に對し所轄官廳の許可を受けず同月十五日頃右李[illegible]元方にて檄告文と題する（檄文略）云々す。

（以下次號）

▲五月號は、勞働運動者 のメーデーの思出滿載

# 野田醤油争議雑評

佐　藤　護　郎

野田醤油争議は六ケ月を經過して益々深刻な凄慘な闘争を續けてゐる。

そして、毎日の新聞に報導せらるる事實はみないたましい家庭悲劇である。十七日附の新聞面には「野田争議つひに發狂者を出す、續出する悲話哀話」といふみだしで第十工場元桶士山中要一郎と第二工場醸造工桐谷嘉造といふ職工が茂木一家をのろひながら精神に異状を呈して、暴虐なる資本家の犠牲になつたと傳へてゐる。なほその他野田の町は毎日の刄傷騒ぎ、暴動騒ぎ、實は小賣商人の立退き騒ぎ等、人の世のあらゆる慘話に埋もれてゐる。然るに茂木一家は、この争議の中にあつてあくまで冷酷な態度を以て挑戰し、争議團の撲滅、組合の打潰しを謀策してゐる。最近、また新聞紙の報ずるところに依れば、政友會内閣との密接な關係の下に、この争議を階級的對立戰として重視して對陣してゐるとか、斯くの如く野田の争議を中心として、資本家は政治と結び、暴壓に暴壓を重ねて勞働者階級の陣營を紛碎せんとしつゝある。從來、階級闘争に就いての理論及び實踐的行爲は、勞働者階級のものに定められ、資本家及び政府は國民の總稱の下に階級的對立を否定せんと努め來たつたが、彼等の經濟政策はもはやそれを許容し得ざるが如き狀態を呈して彼は自ら勇敢に階級闘争の實踐者となつたのである。而してこの實踐的行爲は何等の科學的根據を有しない窮鼠的反動行爲である。隨つてこの反動的行爲は冷靜なる見境はなく狂刄を振まはしたことであらう。そして彼等の眼中には全く人間の存在を認めずして、たゞ資本主義の謳歌をのみ夢みてゐる。今、我々が野田の争議を冷靜に凝視するならば、そこには人生の最惡なる行爲をのみ發見するであらう。そしてそれはすべて資本主義の矛盾の反映である。而るに政府は自ら資本家階級に加擔して、自ら階級闘争の激成を煽動してゐるこの政治の反動的傾向は一體何を意味してゐるものであらう。

また、野田の争議を通じて、資本家階級及び政府の一貫せる策謀の中には、勞働運動の階級闘争化を去勢して、資本主義化せしめんとする傾向をみることが出來る。それは、資本主義經濟の極端なる破綻は遂に階級闘争を激成し、資本主義の崩壞を招來することを意識し、それを恐怖する餘りである。

彼等の策謀は先づ第一に階級的組織を破壞することである。それには、その組織を指導する中堅的勞働運動者を絶滅して、御用組合化せしむることが必要である。野田の争議には露骨にそれが表はされてゐる。資本家は産業平和論をとくが如き最も穩健なる勞働總同盟をすら、その存在を拒否して、現在の總同盟會員の總解雇を主張して、一歩も退かない。もしこれを承認しないならあくまでも挑戰すると大向ふから見榮を切つてゐる。この行爲は、たゞ儲かればよいといふ商人根性ではなくして、勞働者共イザ參れ、といふ劍劇的政治の片われ的根性である。この根性は、どの資本家にも共通したものであつて、あくまでも資本家同志の共同的動作を行はしめる原因である。隨つて、これは現在の政治家と密接に結びつく性質の根性である。

野田の争議は、斯くの如き對抗の中に深刻なる作戰をなしてゐる。もし、この争議が茂木が勝つて争議團側が負けたとするならば、新興勢力が舊式反動勢力に敗れたことにより、また、争議團が茂木を倒したならば、新興勢力が舊式反動勢力を屈服したことになる。それだけにこの争議は勞働者階級にとつて重大な争議であり、また社會的重大な争議である。

勞働者階級は、あくまでもこの争議に勝利しなくてはならぬ。

三、三、十八



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 分裂主義者の策動と總選擧後の無產運動の任務

上杉定義

一

新選擧法による總選擧の結果は、普選とは名のみの制限選擧の中にあつて、八名の無產黨議員と四十万の大衆に對して政治的昂奮を與へた事によつて、其の幕は閉じたが、それ以上にブルヂョア階級の支配力は增大されて來た。且つては三百万の有權者の名に依つて支配した彼等は普選に依つて、一千万の名に依つて支配し始めたのである。斯くして總選擧が我々に教へしものは今尚ブルヂョアヂーは安泰であると云ふ印象のみであつた。常に我々の前にあつて戰鬪的前衛分子の結合を誇つた所の宗派的分裂主義者は、此選擧戰において果して如何に戰つて來たであらうか。總選擧前において各無產政黨が總選擧に對する最高の機關として設置した選擧協定會議の公約を無視するが如き背德行爲を成したる者は、彼等分裂主義者ではなかつたか。我等の同志が奮戰する時、對立鬪爭によつて味方の陣營を攪亂する事が、前衛分子の任務であり、分裂主義の本領であるのか？斯かる反階級的な行爲を常に合理化せんとして努力する『マルクス主義』『無產者新聞』一派の人に對して、は徹底的に鬪爭し、彼等の階級的假面を剝ぎ取らなくてはならない。殊に『マルクス主義』『無產新聞』にあつて、毒筆を振ひつゝある佐野學氏及びこれを廻る一派の人々は、表面には無產階級的假面を附け、裏面にあつては常に我々の陣營を分離攪亂せしめるために努力して、險惡辣なる方法によつて常に反動的役割を成して來たのであつた。且つて佐野學氏は、大正十五年の暮において日本勞農黨が結成され、各無產政黨の對立が猛烈となりし時にあつて、山川均氏は、無產政黨の即時合同を唱へ、北浦氏亦無條件合同を提唱して勞農黨の指導勢力を追はれ、雜誌改造等において盛んに福本主義の攻擊を成してゐたが、當時共產黨事件のため入獄中の德田、杉浦、渡邊の諸氏が出獄して勞農黨に立籠つて、福本和夫氏と共に論鋒を揃へて山川、荒畑、北浦の諸氏に對立した事があつた。田所輝明氏は對立主義を克服せんとして日勞黨入りを成し、左翼理論家は充て其の態度を鮮明にした時、佐野氏一人は、遂に宙ブラをきめてしまつたのである。其後堺老人と共に福本主義の清算を試みんとしたが何時の程か福本イズムに克服せられ、其追隨者と變化して終ひ既に福本主義は大衆の信賴を失ひ、統一問題の提唱されるに到つても、尚分裂主義を固持して無產階級運動の闘爭で力を削ぐ事に務めて來の、ある。斯の如く過古に於て、實に笑止の如く無節操な佐野氏も總選擧前東京第一區より立候補すべく發表したが、無產者新聞が階級的政治新聞としての使命を遂行するため勞農黨より立候補する事の妥當でないとて解散後において斷念する事を聲明した。それが各勞農政黨の選擧協定が割合に順調に進みつゝある關係上、佐野氏の態度、及び無產者新聞に對しては、多少の期待をもつて見られてゐたが、選擧戰の白熱化と共に、彼等は、其の態度を豹變して完全に選擧協定を蹂躪して終つた。即ち總選擧前、最後の協定會議に於て東京第五區は秋和氏を引かしめ、加藤氏を立候補せしめ、模範的選擧を行はんとて各政黨がこれを應援する事を決定し、勞農黨自身も是れを承認したのであつたが、夫にも係はらず選擧戰に望みて、勞農黨は『大衆の要望おさえ難し』の理由によつて階級道德を蹂躪して秋和君を再び立たしめたのであつた。この分裂主義者の理由がコジツケであつた事は、加藤勘十君の一万二百一票に對する秋和君の三千八百六十二票の得票に依て明かにせしめたが大衆の要望如何は別問題としても、各無產政黨間に結ばれた公約を違反した事は、許すべからざる階級的裏切り行爲である。然るに階級的政治新聞としての立場を守ると公言した、佐野學氏を主筆とする無產者新聞は、二月五日發行の同紙において『秋和君は勞働者出身の階級的プロレタレアであるから、加藤君が讓つてこそ、階級的忠實があると評してゐる。彼等「マルクス主義」及び「無產者新聞」は、全國の選擧協定を破綻せしめ、階級間に於て背德行爲を敢て成す所の勞農黨の反動的裏切り行爲を彈劾せずして、尚これを合理化せしめんとして、徒らに毒筆を振つて、他黨候補を中傷せんとしつゝある。宗派的分裂主義者一派の人々は、常に口に統一を叫ぶと雖も、實踐においては、反階級的行爲によつて味方の陣營を攪亂する事のみに汲々としてゐるのである。既に民衆より見離された、分裂主義者は其の主義を眞向より振かざして來る事能はず、無條件合同論の題目をもつて、糊塗せんとする卑劣なる行爲によつて階級的裏切り行爲を成し僅かに其の餘命を保つてゐる。

## 二

常に我々が闘爭せんとする前には、先づ味方の陣營を整へなくてはならない。表面無條件合同論をもつて大衆を欺瞞し、常に宗派的分裂主義の下に、大衆を分離せしめて、無產階級の闘爭力を削ぎつゝある所の、勞農黨一派の演じた、裏切り的役割に對しては思想的にも組織的にも叩き潰し、克服しなくてはならない。

總選擧後における雜誌マルクス主義三月號の佐野氏の論説によれば、日本勞農黨と日本農民黨の合同は、日本勞農黨の右翼的な前進であつて、現在の如く大衆黨の分裂狀態にあるよりも一層危險であると云つて恐れて居られる。何と佐野氏は分裂主義の謳歌者であらうか。日本勞農黨が之までの日常闘爭において、多少の誤謬を犯して來た事は誰れも認めるが少くとも、日本農民黨との合同に對して異論を挿むものは、小兒病的左翼理論家を除いてはあるまいと思ふ、佐野氏によれば日勞黨の幹部須只快天、高橋龜吉氏か取思のブルヂョア幹部であり、斯る指導下にある日農黨との合同は、日本勞農黨の右翼化であると論斷してゐるが、現に右翼的性質の深化しつゝある、日農黨との合同を拒否して右翼幹部の指導下におく事は、より以上の危險ではあるまいか。日本勞農黨が右翼の日本農民黨に對しては、無條件合同を承認しながら、勞農黨に對しては、單一組合條件を固持して讓らざるに對して、左翼理論家諸氏は合同の誠意の無い唯一の證左としてゐるが、總選擧戰を通じて、分裂主義者の餘燼未だ殘存せる事を明かにした勞農黨の實踐的行動によつて單一組合條件の必要を益々痛感せしめた。

勞働農民黨は、未だ資本主義の跳梁し、コミンテルンの日本プロレタリア運動に關するテーゼの發表されざる時において、即ち昨年の分裂一週記念の常任中央委員會の席上より、無條件合同論の絶對排撃を聲明してゐる。其の當時無條件合同を唱ふるものは、山川均氏一派の人々であつて、苟くも勞農黨員にして、これを口にするものは日和見主義者の烙印を捺されたのであつた。然るに我國の無產運動は彼等の世迷言には容赦する事なく進展して、合同統一の叫びが轟然として起り、コミンテルンの批判は發表せられ、福本イズムに對する理論的誤謬が明かとなつて大衆が彼等より漸く離れんとするや、彼等は急激なる方向轉換を行つて、日和見主義の理論の前に屈服して、之を唯一の旗印として再び民衆の歡心を買ふ事に務めてゐる。現在の左翼理論家の態度は、大衆指導の任務を遂行する事が出來ず大衆に常に指導され、引きづられつゝあるを見ては、彼等の目にする前衛とは、大衆に追隨する者なるかを思はしめる。

勞農黨の總選擧後の統一問題に對する方針決定のため開かれた三月三日よりの常任委員會において、福本イズムの唯一の根據たる勞農黨にも其の理論が入れられず苦しき打開策、孤立策を成しつゝある事を知らしめた。常任委員會の一般方針の一節において、勞農黨は大衆黨であるが故に、民主々義、組合主義、共產主義等の全ての分子を包合するが故に、嚴格な意味の指導精神はないと云つてゐる。勞農黨の幹部諸氏は始めて、自己の黨が大衆黨である事に氣附いたのであらうか。從つて日勞黨との無條件合同論に對しては一日勞黨の指導精神の變らざる**限り、絶對に合同せず」**と自黨の指導精神を強張した同黨の態度の變化は既に斯くの如くである。勞農黨の唯一の指導勢力であつた福本イズムに對する反福本イズムの同黨内の對立は遂に表面に現はれて、常任委員會においても相當の波亂を描いた。常任委員會における反對派は一般方針中の社會民主々義に對する批判の自由の一部は、所謂分裂主義者の代表的思想の表現と見て、これを削除する事によつて極左派を克服し、他黨との合同に進まんとしてゐるのであるが、常任委員會においては、未だ多少の福本イズムの陶醉者のありしため、擴大中央委員會迄保留される事となつたが、完全に同黨內部の指導勢力に破綻を來した事を知らしめた。大衆より取殘された分裂主義者が尚小兒病的な夢に醉ひつゝある事は、むしろ憐れむべき事である。

我國の資本主義は、世界大戰によつて各國が其の闘爭力を破壞せられたにもかゝわらず、反つて此の期間において飛躍的の發展を遂げた。大戰後の恐慌及び一九二三年の大震災の破損、昨年の金融恐慌の影響はあつたが、現在に於ては漸次回復して再び上向線を辿つてゐる時にあつては大衆を離れた觀念的小兒病的な關係は何等の貢獻をもなさない。總選擧によつて獲られた事は、國民の九割は既成政黨の下にある事であり、既成政黨は、この九割を占める所の有權者の名において、より以上の我々に對する敵陣の手を伸しつゝある實である。總選擧後において我々無產階級の上に加へられた闘を撒げて勢慘せる所のあの勢唯は、彼等が無自覺なる民衆を自己の陣營に誘引せんとする大陰謀であつたのである。斯くの如く客觀的情勢は我が無產階級運動上最も困難なる情態にあるのであつて、これに對して我々は如何に闘爭すべきであるかは、無產階級運動の上にかけられた最大當面の問題である。我々がこのブルヂョジーの攻勢に對するの戰術は、自らマルキストをもつて任じ我國無產階級の前衛たらんとして、徒らに戰線を攪亂する小兒病的セクト主義を克服して猛烈なる運動を開始し、合同邁進を圖る事でなくてはならない。

# 敗戰記

## 選擧は何を敎へたか

福田狂二

### 敗戰記執筆の理由

僕は過般の總選擧に日勞黨の公認として、僕の故郷である島根縣第一區に出馬した事は、大方の諸君の知つてゐられる事と思ふ。僕の立候補した理由は、民政黨の金城鐵壁の地として知られてゐる島根縣に、無産政黨日勞黨こそ眞の民衆の味方である事を選擧戰を通じて民衆に訴へ、一方既成政黨の無能、無力、無産階級の敵であるといふ事を聲明して、民衆諸君の自覺を促したい希望も立候補した原因の大きな一つでは有けれども、最も大なるそれは、日勞黨の諸氏や、島根縣第一區の民衆諸君の双手を擧げての勸誘によるものであつた。そこで僕は出馬した。出馬した以上は死ぬる迄やるつもりであつた。そして、當選は望まなくても、少くとも、既成政黨の安眠を狼狽させてやりたかつた。それに落選しても、この次は當選出來る望みはあつた。しかし、選擧戰中當選は第二の問題であるなど丶云ふと、非常に士氣を阻喪させる恐れがあつたので、當選を目標として戰つた。當選第一主義は選擧戰においては最も必要である。勿論、既成黨のそれと、無産黨のそれは根本的に違ふが、僕等の當選第一主義による戰ひは結局、民衆の動員に自覺を必然的に目標とするものであるから安當であつた。かうした信念の下に、日勞黨の主義精神を眞向にふりかざして、三旬に渡る戰場を突破した。が結果は落選であつた。しかし、僕は既成政黨の諸君と違つて失望もなにもしなかつた。既成政黨の諸君は、金を費つた上に、落選すれば、何の成果も殘らぬからである。僕はこれと違つて、投票上において四千餘票の民衆を獲得し、將來發展の基礎を固めたからである。殊に、私達の演說會は約五万の人を動員したが、その聽衆の中には非有權者が澤山あつたから、その非有權者が有權者になつた次の選擧は、成功するものと思つてゐる。僕等の戰ひは、言論一點張りであつて、既成政黨の買收戰と根本的に相違する。若し、僕達が買收戰のみを武器としてゐたなら、少しも地盤の無い、又一回も演說會にも行かず、一枚のビラも張らない土地に投票のある筈は無い。僕への投票は、どんな僻村においてもあつた。僕への一票は金と交換の一票では無い。主義政策を信賴しての一票だ。僕の一票と既成黨の一票とは全然値打が違つてゐる。

それは兎に角、既成黨の買收が利いたのは農民の無自覺を物語るものではあるが、僕等の態度にも相當の誤りが發見出來る。それは、農民の心理、現實の利害そうしたものを正しく握つてゐないからだつた。選擧戰を通じて農民を無產階級運動の正しさを信じさせるには、抽象的一般論からでは駄目で、農民の現實の利害、心理をうまく利用せねばならないといふ事を學んだ。無產政黨が都會で成功し、農村で不利だつたのは、こうした點によるものであらう。

　農民は非常に所有慾が強く、土地をもちたいと云ふ希望を、強かれ弱かれ誰もがもつてゐる。無產黨の主張がこの心理と相反するとの既成黨の宣傳も可成り利いたが、都會式宣傳の濃厚な僕等の演說が、農民論の疑惑を招いだ事も事實であるらしい。農民を如何に勞働者の同盟者たらしめるかゞ、最も重大なものである以上、この農民を相手の選擧にはデリケートな技巧が必要である。

　この敗戰記はそうした數訓、失敗、滑稽談など織まぜたものである。又、勞農黨との關係について、勞農黨が自分の非を棚にあげて漫罵中傷をほしいまゝにしてゐるから、防衛上、その事件の眞相も發表するつもりである。この敗戰記は、色々な手記、日記、手紙等から集まつたものを統一したものである。なるべく、諸君に笑つて貰ひ、奮起して貰ひ、考慮して貰ひたい式のものである。この敗戰記は、僕にとつて一つの記念記たるを失はない。敗戰記を綴る所以である。

### 既成政黨の地盤關係

　島根第一區は出雲國と隱岐國である。隱岐國は日本海の怒濤に包圍さるゝ孤島、出雲の國は安來節の國、緣結びの國として名高い。この出雲の國は民政黨の若槻顧問を出したところで、若槻ならでは夜の明けぬ土地である。若槻が首相になつた時など、松江市は提灯行列等の馬鹿騷ぎをやつたくらひだ。島根の無產民衆はこの神樣によつて、うんと搾り取られる事などは少しも御存知ない。日本勞農黨はこの三菱といふ大資本家の代理人である若槻とその一黨の曝露を大々的にやらうと決心した。扨て、この第一區はどう云ふ地盤關係になつてゐるかと云ふに、民政黨系が壓倒的優勢で、政友派がその間に介在してゐる。前の小選擧區制では次の樣であつた。

隱岐國（政友）古川　濟
松江市（憲政）佐藤球三郎
能義八束（本黨）櫻內幸雄
（大原仁多（憲政）木村小左衛門
簸川、飯石（本黨）原　夫次郎

　以上の分野であつたが、本黨、憲政解體後の狀勢は民政黨の壓倒的多數となり、今回の選擧でも、民政黨が定員三名を獨占した。そうした、若



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

槻さんの睨みの利く土地柄だけに警察も案外極端な干渉もやらなかつた。しかし、それも程度の差であり、民政黨が極端な妨害をやつた。

## 無產階級の勢力

既成政黨の地盤關係は一瞥して見たが、無產階級の陣營はどうであつたかを見よう。昨夏迄は日本勞農黨のみであつたが、全日本農民組合山陰支部が分裂して以來日本農民組合の支部が出來、勢ひ勞働農民黨支部が組織された。

| | |
|---|---|
| 日勞黨約 | 二千 |
| 勞農黨約 | 一百 |

の割合である。しかし、この兩方とも農民の教育が統一され、精練されてゐない。隣縣鳥取縣程進出してゐず、保守的思想が尚農民の頭を支配してゐる。

## 立候補と勞農黨の策動

一月二十一日議會解散の報あるや、日本勞農黨は島根の第一區に公認候補者として僕を推薦した。この日勞黨の決定に、日勞黨山陰支部長戸谷一雄君は不滿をもたれた。それは日勞黨本部並に山陰支部が執行委員長たる戸谷氏に挨拶なしに福田を立てたといふのにあつた。戸谷氏の不滿は一應理由あるものゝ如くであるけれども、當時戸谷氏に山陰の黨員は不信の聲を高めてゐた。それは昨夏の全日農の分裂以來、全日を顧みず日農の走狗と化してゐたからであつた。分裂して間の無い組合間に、單に天下り的の機械的な合同論を提唱してゐた戸谷氏はその空虛な合同論を利用した日農側の走狗とならざるを得なかつた。そうしたで、戸谷氏は日勞の黨員に見捨てられた。が戸谷氏は尚未練がましく、日勞黨本部に反抗してゐた爲めに戸谷氏除名の聲さへ起るに至つた。そうした內に戸谷氏は第二區より出馬するとの電報が日勞黨へ來た。黨本部は戸谷氏の意を諒として快く公認し、日勞黨の旗は島根縣下を蔽ふやに見えた。戸谷氏と全日農の山崎氏と同行して黨本部へ來られたのはその頃であつた。しかし、氏は本部に一寸顏を出したまゝ、何處ともなく姿をかくした。氏は默つて島根に歸つてゐたのであつた。そして、二區立候補說は有耶無耶に立消えとなり、あまつさへ戸谷氏は一夜變りに勞農黨と變じて了つた。日勞山陰支部長は、勞農黨島根支部長となつて了つた。そして僕に對立して立候補せんと努力し初めた。この對立說は勞農黨大衆の要求ではなかつた。戸谷氏初め勞農黨支部の幹部と、その背後には無產政黨の勃興を極度におそれる二大既成政黨の存在があつた。しかし、この戸谷氏の立候補說は大衆の反對に合つて失敗した。が、戸谷氏派の勞農黨の幹部は、名を共同鬪爭に借りて、戰線の攪亂を企てた。勿論、選擧戰中にはその姿を露骨には表はさなかつたが、最後に至つて遂にしつぽを出して了つた。これは後に詳述する。

## 吾黨は言論第一主義

僕達は言論第一主義で、ビラ、ポスター、演說會に全力をそゝぐ事は各無產黨とも軌を一にする。「ビラ」「ポスター」「立候補宣言」は盡く東京「進め社本部」で作製した。縣下においてポスター、ビラ戰を開始したのは吾黨が最初であつた。既成政黨は吾黨の言論主義に狼狽して急いでポスター、ビラを作つて宣傳を試みた。

僕のポスターは、麻生君と同一な「正義自由パン」と大書したのと、今一つは「農民勞働者小商人の味方、正しき一票を投ぜよ」とした寫眞入りの分とその他文字ばかりの小ポスター二三種類、ビラ二種類ばかり用ひた。無料郵便による有權者へ配布する挨拶狀は新聞型のものである。

中央より應援に來てくれた辯士の顏ぶれは、今村等、光吉悦心、藤岡文六、高川和迎、織本貞代、菊川忠雄、安藤盛、上杉容義、大谷久治、小川友三郎、前田晴生、吉田初子の諸君、殊に婦人同盟の應援は縣下初めての事なので大人氣であつた。松陽新聞の選擧欄の一記事を揭げしやう。

「日勞黨公認の福田さんは娘子軍を先頭に各地に轉戰し、戰場に時ならぬなまめかしい花を咲かせてゐるが「私等は臺所を飛出して……」なんて黄色い聲に聽衆ボーツとして思はず拍手―」

僕の選擧事務長は全日山陰支部中央委員[illegible]君であつたが、官憲の干涉によつて拘引され、同中央委員千代田治平君に代つた。この動搖は可成り僕等の士氣を阻喪せしめた。參謀長は石原敏三君で采配を振つた。松江市雜賀町に本部を置き、それに平田、今市、安來[illegible]て、主力[illegible]地である。[illegible]した。そ[illegible]大の農業[illegible]戰を通じ[illegible]たのであ[illegible]を動員し[illegible]くして政[illegible]れた。私[illegible]へ到着し[illegible]ひは猛烈であつた。

## 官權の干涉壓迫

田中反動內閣の無產階級運動に對する[illegible]國に渡つて[illegible]れてゐた。[illegible]目から[illegible]たが、[illegible]身地で、[illegible]つた。しかし[illegible]るを問はず[illegible]利害の[illegible]既成政黨の[illegible]た。[illegible]君と日勞山陰支部[illegible]十八日[illegible]事件[illegible]て了つた。[illegible]けに次から次へと組織的な妨



Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

害が展開して行つた。吾黨のポスターは一日とは張つてなかつた。どんな山の中の村でも破られて了つた。一説によれば××が破つて廻つたとも云はれてゐる。事務所の妨害も行はれ、事務所變更の餘儀なきに至り、その爲め印刷物の上に大恐慌を來たした。演説會における言論の壓迫もひどいものであつた。

## 既成政黨の妨害

既成政黨の壓迫妨害もひどいものだつた。殊に既成政黨の勢力は自治體の上層に位してゐる地主によつて占められてゐる關係上演説會場の借受け等に色々な口實をもつて妨害した。自治體への無産階級の進出といふ事を痛く感じた能義郡安田村の村長は無産黨の爲めには會場を借せぬと云つた。吾黨が直に告訴せんとしたが、助役が仲に入つて詫びたので中止した。

民政黨より出馬した原大次郎の如きは、簸川郡塩冶村に於て「稲田派は共産主義者で危險だ」と演説して、民衆の無知に乘じて恐ろしいものだといふ先入感を與へようとした。こうした、たゞ恐ろしい者、氣狂じみた思想といふ逆宣傳を、よし、演説會上においては飛ばさぬにしてもその走狗村長有力者をしてふれ廻らした事は事實らしい。又原大次郎は「無産黨は分裂してゐるから無産黨では無い」とか「無産黨なら選擧費用は出來ぬ筈だ」などゝ與太を飛ばした。しかし、こんな根據の無い言葉に乘る樣では、目覺めたる民衆とは云へぬ。ところが、こうした言論にも乘ずる者が多數あつたればこそ、既成政黨の横暴が通るのだ。若し、無責任なる言論に乘じない民衆ならば、買收によつて投票はせぬ筈だ。吾黨は既成政黨の買收行爲によつて大慘敗した。買收行爲程憎むべき事は無く、亦買收によつて投票を賣り、搾取者の土臺を固めてやる民衆程哀れむべきは無い。

## 選擧と買收行爲

既成政黨にとつて選擧と買收はつきものである。公正なるべき選擧を金でなくば投票せぬと民衆に考へさせたのは金權政治の罪惡であつた。彼等は普通選擧をもふたゝび金で汚そうとした。

選擧戰の白熱化する頃、松江の某銀行でブルヂョア黨の某が一万圓を一圓紙幣に代へたといふ事實がある。その他わざわざ大阪へ迄同樣の事をしに行つたそうだ。簸川郡北濱村は既成黨のビラ、ポスターさへ掲げない程の村だつたが、某派の爲め網元が買收され、網元の強制的行爲によつて村民を買收して了つた。一票あたり十五圓だつたとか云ふ。

同じ簸川郡の某町の某工場の男工はこぞつて僕に投票するとの事であつたが、社長の強迫的買收によつて投票を失つた、一人五圓だつたと云ふ。

兎に角、既成政黨に大抵買收行爲があつた事は、それが表面に出ないにしろ、全國に渡つて恐らく例外はあるまい。そして買收運動によつて一番利する者はブローカーで、村長や、役場員がこの役目をつとめる。買收行爲を禁ぜられた普通選擧下においてすら、大手を振つての買收があつた。無産黨は民衆の政治教育を通じてこの弊害を擊破せねばならない。

## 哀願目もあてられぬ既成政黨

既成政黨は選擧の時だけ人間に出來ない樣な低級下劣な態度をする。哀願する。そして、議會に出れば横暴にも民衆の膏血を搾る爲めに奔走する。今度の選擧において「どうかお助け下さい」など、哀れな聲をして、言論をもつて戰はせず、低頭平身する。この戰法は、無知な農民に「あんな偉い人がおれに頭を下げるから入れる」といふ考へを起させる。農民の素朴をつけ込んでの方法である。既成政黨の演説會は聴衆が十人二十人ぐらひであるから、この調子で戸別訪問式である。原候補などは「演壇で靴下を穿いてゐるのは勿體無い」などゝ云つて聴衆に向つて土着座してペコ〳〵御辭儀をした。目もあてられぬ卑劣さである。選擧が終れば彼等はどんな顔をして、歩くであらうか。どんなに小作人を搾取するであらうか。どんなに無産階級彈壓の爲め努力するであらうか。

## 既成政黨の演説會と吾黨の演説會

既成政黨の演説會と無産黨の演説會とは話にならぬ程相違した。無産黨の滿員に反して、既成政黨は寂しい。吾黨は多い時は二千人會場のガラ

# 島根大衆に訴ふ
## 勞農黨の裏切事件の眞相

三月上旬無産者新聞、勞働農民新聞に掲載せる島根縣における所謂日勞黨對勞農黨の支部間における暴行事件、及び日本農民組合島根支部内に巣喰ふ分裂主義の反階級的行動に對する眞相を訴へ諸君の正當なる批判を仰ぎたいと思ひます。勞働農民黨が口に無條件合同を唱へながら、實践においては常に大衆分離に努めつゝある事は、過般の選擧協定が勞農黨内の分裂主義者のため破綻した事實によつて雄辯に實證してゐますが、我が山陰に置きましても、日農の幹部諸君は戰線の攪亂のために努めたのであります。以前全日本農民組合の幹部であつた戸谷某と云ふ、常に日和見主義的態度を取り、全日山陰聯合會より除名せられた人を擁立して、既に日本勞農黨より立候補してゐる稲田狂二氏と對立せしめんとしたのであります。そして彼等は、新聞紙、ビラを通じて「稲田狂二は、從來無産大衆の解放のため何等の運動を成したる事なき島根大衆には最も縁遠き者で



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

スが割れたりした。如何に少いと云つても二百人を下らなかつた。既成政黨は少い時は一人や二人の時があつた。惡く無產黨の演說會とカチ合つた場合は彼等はすぐ豫定を變更した。大原郡木次町の原夫次郎の演說會は若黨の偉力によつて延期するの止むなきに至つた。しかし、演說會の盛況を見て豫想は出來ぬ事を感じた。演說會の人氣ならば、僕が最高點の興味だつた。演說會の盛況は、半分の者が演說有權者にあらざる者など色々くな分子を含んでゐた樣であるが、、若い青年の間に共鳴を得たから、年々吾黨支持の有權者がふえて行く事と思ふ。しかし、第一區百七十三ケ町村に約九十箇村より行けなかつたのは、失敗だつた。何分日本海の果より吹きくる吹雪と降雪の爲め思ふ樣活動が出來なかつた。平時において宣傳するの必要を感じた。

## 勞農日勞の共同鬪爭決裂

勞農黨の對立候補が大衆の反抗によつて失敗してからは、勞農黨との共同鬪爭が開始されたが、勞農黨員は、常に候補者の事はそち除けにして自黨の事のみ吹聽した。そして、「かならず拍手せよ」云々くの言葉を用ひて民衆に無產黨は傲慢無禮なものだといふ考へを抱かしめ、或は日勞黨は墮落幹部の寄合世帶だなどとふれ廻つた。そして、某幹部は無產黨の幹部にあるまじき振舞をして遂に日勞、勞農兩派の紛糾となつた。この事は別に誰かゞ書く事と思ふから差控へる。

勞農黨幹部は自らの非を省みずして、選擧終了後松江に演說會を開催して「投票が少かつたので候補者が暴れ廻り、身命を賭して戰つて來た我黨を攻擊した」などゝ漫罵をあびせかけた。その時こうした言を聞くに堪えかねた日勞黨の黨員が立つて「勞農黨にその責任なきや」となぢつたところ、警官が解散を命じた。勞農黨はすぐ日勞黨の爲め演說會を解散されたと中傷した。そして無產者新聞と勞働農民新聞に惡口雜言を書き立てゝゐるが、彼等の云ふ事は最早大衆が耳にしない。勞農黨の攪亂策は全國に渡つて行はれたものゝ如くである。加藤勘十君の例など最も著しい例だ。選擧を通じて合同問題など非常に難問題である事を痛感した。

## 敗戰と得票數

ブルヂョア新聞の妨害も相當あつた。各候補者の立看板が寫眞にして揭載されたが僕の立看板だけ白く抹殺してあつたり、投票日の朝になつて、稲川は二万票の投票は確實だなど、デマを書き、妨害した。この手は昨秋の府縣議戰に既成政黨の用ひた手段である。

例へば群馬の須永氏は當選確實だと既成黨が民衆をあざむき投票を分散させて了つた。この戰術も可成り恐ろしい手段である。それは兎に角として、僕は落選は無論覺悟だつた。要は投票數であつた。開票の結果は組織地以外に二千票に近い投票があり、この方面への進出の地盤が出來た譯である。

| | | |
|---|---|---|
| 當選 | 二六、一七二票 | 木村（民） |
| 同 | 二〇、五三七票 | 櫻内（民） |
| 同 | 一五、一二一票 | 原（民） |
| 次點 | 一一、六九三票 | 古川（政） |
| 同 | 四、一四三票 | 稲田（日） |

投票數の各郡別

稲田（●組織地◎未組織×演說に一度も行かぬ土地）

| | | |
|---|---|---|
| ○ | 松江 | 二一三票 |
| ● | 八束 | 八七四票 |
| ● | 能義 | 九〇八票 |
| ○ | 大原 | 一三九票 |
| ○ | 簸川 | 一、八二五票 |
| ×◎ | 仁多 | 一一五票 |
| ×○ | 隱岐 | 五四票 |

組織農民約二千を超ゆる事二千餘票であつた。勞農黨の新聞が農民組合數より少いなどゝデマを飛ばしたが先づ事實を見よ。

×　×　×

かくして僕は敗戰した。既成黨は買收によつて勝利を博した。しかし乍ら勝利を占めた筈の既成黨の足下は一日一日とグラついて行く事實を彼等は果して知るであらうか。僕は、今後、何時解散が來ても、他に適當な候補者のあらざる限り立候補したい、そして、平時においては、農民運動の爲め努力したい、兎に角、僕は今後の運動方針が、農民の心理、狀態をよく提へての運動でなければ成功しない事を痛感した。單なる上からの勞働者式の運動では、農民の動員は出來ぬ事を知つた。勞農黨の金城湯地として知られてゐる香川縣が組合脫退が續出するのは勞農黨の運動方針の誤りを物語るものである。農民と勞働者の問題など研究すべき事柄である。

敗戰記に合せて、僕の感想を述べた次第である。（完）

ある」等の無產運動に從ふ者としてあるまじき反階級的行爲を敢へて成し忠實なる大衆を欺瞞せんとしたのであります。然るに島根の大衆諸君は、今日は勿論、日農の組合員諸君迄、稲田狂二氏に對する絶大なる後援を叫びしため、遂に戶谷某は立候補する事が出來なかつたのです。そのため日農の分裂主義者は、第二の戰術として、表面大衆の要望に從ふ如く粧ひ共同鬪爭を申込んだのです。日勞黨は立黨の精神に從ひこゝろよくこれを承認したにもかゝわらず、彼等は、共同鬪爭に名を騙りて、稲田候補に對して棄權すべき事を組合員に勸誘して歩いたのです。彼等は共同鬪爭の名の下に他の無產政黨を潰して大衆を奪ひ取る事と、府縣議戰の折の如く、輝ける勝利をブルジョア政黨に誇らず、他の無產政黨に誇るが如き、自己の敵を完全に忘れたる行爲を成す事をもつて、階級運動の前衞であると自認せる分裂主義者の指導方針を完全に遂行したのであります。何それればかりでなく、應援演說に事よせ、日農の一幹部は、連日の演說に疲れたる婦人辯士を凌辱せんとし、其の婦人辯士の實兄が憤激して制裁



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 打倒分裂主義

吉田源藏

我が國無産階級運動陣營内に共産主義者の假面を被り、晨に戰線を攪亂し、昏べに同志を傷けて、ブルジョアジーの分割支配の魔手を恣にふるはしめている事實上の支配階級の手先がある。其の名を福本主義者と云ひ、勞働農民黨の内部の一角に巣喰てゐて、『マルクス主義』『勞働者』『無産者新聞』等を發行して、其の豐富なる財力と、針を含む毒筆と、虚妄の辯説と、侫惡なる奸策と、惡辣なる方法と、陰險なる手段等々を以て、或は金で、或は筆に、或は口を以てし、或は腕力に訴へ、あらゆる術策の下に勞働運動、水平運動、農民運動、政治運動、思想運動と、日本無産階級運動の團體陣營内に分裂對立のブロックを作り、分裂對立の理論を流布宣傳し、無産階級戰線を支離滅裂に混亂せしめ、未だ確固たる意識を持たざる多くの民衆を歸趨に迷はしめ、組合を分裂せしめ、政黨を對立せしめ、爭議を不利に導き、階級道德を無視し、協定を破る等實に彼等の動くや、其の一擧手、一投足、彼等の口を開くや、其の一句半言實に我が國無産階級運動にとつて有害とならざるものなく、あだかも人體に於ける黴菌の如く、植物に於ける害蟲の如く一個半片たりとも宇宙間に其の存在を許す可からざるバチリスである。

重ねて言ふ彼等の名は福本主義者と稱し、勞働農民黨と云ふ無産政黨の一角に巣喰つている分裂主義者の一團で、共産主義者の假面を被るところの『マルクス主義』『勞働者』『無産者新聞』等の一派は事實上のブルジョアジーの分割支配の手先である。

彼等が其の誤れる分裂對立の理論を以て實踐上に犯した罪惡はあまりにも數多く、枚擧に遑のない程で、階級戰に直接の交渉を持つ者は勿論、たとへ階級運動に直接の關係を有せざる者と雖も、多少共に無産階級運動に關心を持つ者は容易に首肯し得るところであつて、彼等が我が無産階級運動の上に君臨して以來約三ケ年、其の間彼等の爲した總てのものは、無産者運動の妨害と、無産階級の陣營の攪亂に終始したのである。

或る人は福本主義者の功罪を論じ、彼等にも攝るべきものゝあるが如く云々するも、彼等が過去に於いてのみならず、現在に於ける彼等の態度と行動は、斷じて無産階級運動上に益するところの片鱗だも見出し得ないのである。

見よ嘗ての奧州福島縣下に於ける炭礦爭議に於ける彼等の裏切と攪亂、山陰地方に於ける農民組合の分裂策動、江州に於ける勞働爭議の攪亂、反動との共同戰線、婦女子の誘拐、栃木縣下に於ける總選擧戰の妨害、選擧協定の破壞、東京大阪島根鳥取の各地方に於ける選擧戰の裏切妨害、昨年の府縣會議員選擧戰に於ける無産政黨の中傷讒誣誹謗等々と、一として無産階級運動を妨害せざるものありや。

自己の非行を棚に上げ、同志を六名迄も獄に投ぜんとして警吏と共同戰線を張りたる島根縣松江の勞働農民黨支部の如き、實に無産階級の敵であり、ブルジョアジーの手先である。

今やブルジョアジーは其の行き詰れる帝國主義最後の段階を死守す可く、財力と權力とを以て、反動政策を以て最後の徹底的搾取を行はんが爲めに一大結成を爲しつゝある。

吾等は、もはや、彼等の攻勢に對抗するの道は吾々の戰線を統一して、全面的の進出に依つて、彼等と正面衝突するに依るの外途なきときに當面している。此のときに當つて統一合同を妨げているのは彼等分裂主義者である。吾々は統一合同を絶對に必要とするが故に、それの障害である分裂主義者を絶對に排撃せねばならぬ。分裂主義を打ち倒せ。(完)

---

菊池寛が改造の四月號の敗戰記の中で生意氣な事を云つてゐる曰く「普選と云ふものゝ性質を、僕が少くとも有名である事を考へたら、もう少し僕に就いて有利な觀測を下してくれてもいゝ筈である」その他、人を喰つた文句に滿ちてゐる。ブルジョア作家をもつて自ら任じた菊池を出す民衆黨も民衆黨、菊池も菊池だ。けれども文士といふ者はこんなものだそうな。

---

を加へたる事に對して、「福田狂二は落選のため發狂して日農島根支部に暴れ込む」とのデマゴーキを飛ばして、無産者新聞、勞農新聞を通じて、自己の非を隱蔽せんとしたのであります。私等は山陰における日農の幹部諸君のこの非階級的行動に對しても徹底的に彈劾せなくてはなりませんが、苟くも無産運動の一翼である勞農黨の機關紙、及び階級的政治新聞と公言せる無産者新聞が、其の眞相をも調査せず、階級戰線を攪亂する墮落幹部の行爲を擁護するが如き、大衆を欺瞞する報道は看過する事は出來ません。今や總選擧の實踐を通じて明瞭と分裂主義者の反階級的行爲を認識した山陰の大衆は、續々と墮落幹部より離れて行きつゝありますが、私等は此の總選擧を契機として、分裂主義者を葬り、山陰の農民運動の進展のために邁進いたす考であります。

(山陰の一農民寄)

宇都宮の某小學校で六年生の男生徒が選擧が終つた二十四日の晝休みに、「選擧ごつこ」をした。黨派は日勞、民政、政友の三派に分れ、政見發表後投票に移り、開票の結果、麻生久の最高點。一兒童曰く、
「僕等に選擧權があれば麻生が當選したがなあ」
「なぜ麻生がいゝの」と訊くと、
「ダッテ貧乏人が助かるもの」

# 總選擧の教訓と戰線統一の鍵

吉田源藏

這回の總選擧程吾々は多く教へられた鬪爭は嘗てなかつたと思ふ。それは第一に政友民政の兩黨は、朝野に別れているとは雖も、其の伯仲した勢力は、實質に一丸として地主資本家の獨占を代表するところの、所謂金融資本の絕對勢力を維持していること。第二には、實業同志會、革新黨、中立等が、著るしく沒落したこと。第三には吾が無產政黨が過去の對立抗爭の禍害に依つて協定が破られ多くの犧牲を拂ひ過ぎたことである。

吾々は第一の事實に依つて、彼等が政權以外に何物もないところの一ツ穴の狸であることを大衆に知らしめ、第二の事實に依つて、商工資本が、金融資本の統制の下に壓倒されていることゝ、急進プチブルジョアーが過信している、彼等の獨自的立場が、ブルジョアジーの前には何の價値もないことゝ、中立と稱する化物が、正體を見破られて彼等の立場がなくなつたことによつて、階級對立の意識が鮮明になつて來たこと等を彼等に教へ、第三の事實に依つて、分裂主義に抗爭して正道確立運動に精進して來た日本勞農黨が、最も正しき多くの成績を擧げ、而して、より以上に擧げ得たであらうところの成績が、分裂主義者の爲めに尊い犧牲を多く拂つたことに依つて來る可き合同問題に、日本勞農黨が最も指導的な立場にあらねばならぬことを痛感したのである。

無產政黨の合同に關して、日本勞農黨の單一絕對條件を云々する人あるも、吾々は這回の總選擧戰を通じて、日本勞農黨の單一絕對條件こそ、實に、實に合同を可能ならしめるものであることを信ずるのである。

試に今回の選擧戰に於ける無產黨の戰績を見て、如何に彼等分裂主義者が、口に合同や統一戰線を唱へ作ら、戰線を攪亂したかを證據立てよう

我が無產政黨は、總選擧の結果八人の當選者を出した、そして、八人の次點者を出している。此八人の次點者の內六人迄は對立候補地である。二派對立候補地の次點者四人、三派對立候補地の次點者一人、四派對立候補地の次點者一人となつている。そして三派對立地、四派對立地の次點者は何れも日本勞農黨の候補者であつて、二派對立地の四人の次點者は、日本勞農黨、社會民衆黨、日本農民黨、地方無產黨であつて、內地方無產黨を除く後三人の次點者の各對立候補者は、何れも勞働農民黨の候補者である。そして三派對立地、四派對立地に於ても、第一に對立候補を擁立したのは勞働農民黨だつたのである。

かくの如く勞働農民黨は無產黨の候補者を六人迄も叩き落してゐる、勿論勞働農民黨が此の裏切を行つたのだとは吾々は考へない、勞働農民黨內部に蟠居してゐる一部の分烈主義幹部の行つたことである。彼等分裂主義者は言ふかも知れない、否云つている。「吾々は議員を當選せしむる以上に、成す可きことを爲した」と。吾々も知つてゐる。彼等が「成す可き事を爲した」のを。それは戰線の妨害と攪亂だ、それ以外に何がある、強て言ふなら、既成政黨の眞似をして、買收を行つて無產政黨の面汚しを行つたことゝ、婦女子の寢床に夜這ひに行つて毆ぐられたことゝ、婦を煽動して無產黨の候補者の吊ビラを盜ませたこと位である。

共同戰線も、共同鬪爭も、協定も彼等分裂主義者の爲めに全く破壞された。吾が無產階級に課せられてゐるところの、戰線統一も、合同問題も彼等階級的裏切者分裂主義者の健在である限り實現は斷じて不可能である。合同問題には、何處迄[illegible]日本勞農黨の單一絕對條件で斷乎として吾々は此のブルジョアジーの分割支配の謳歌者を葬らねばならぬ。

分裂主義者を血祭に上げよ。分裂主義を歷史の附錄に放り込め。

此の[illegible]を穴にして此の邪教の害を焚いて仕舞はねば日本の無產階級の戰線は斷じて單一なものにはなり得ない。聞くが如くんば、農民組合の合同問題は非常に進捗して、最近の關西に於ける[illegible]各派の合同懇談會も、一般大衆から大なる期待を以て迎へられていたのである。それにもかゝはらず、日本[illegible]無產階級運動に於けるプロレタリアーの指導權を持ち出して、此の重大なる意義と使命を有する「農民組合合同懇談會」の雲行きを一時混亂に導いたと云ふことであるが、福本宗派には何の內緣もないと自ら[illegible]病に對して、豫め免疫注射をして置く事が合同に對する絕對な條件であらう。

進め社パンフレット
農民諸君に與ふ
神庭仲之介著
定價十錢

# 無産候補者の無い選擧區において如何にすべきか?

このハガキ問答は三月號に掲載すべく二月十六日諸氏に發送したが、何分選擧の眞最中だつたから集らず、締切日になつて集つて來た。時機を失した憾みはあるが、問題たるを失はぬので掲載した。左にブル線で閉めるが、本社の問合せのハガキ文である。

無産階級の立候補の無い選擧區においては吾等は如何に選擧權を行使すべきでありませうか。此の場合一、棄權 一、ブルジョア黨(明確な意識の下に) 一、候補者にあらざる無産者に無效投票……以上の三つがあると思ひます。之に就いて意見を伺ひたく思ひます。尚、參考として山川均氏は「勞農」二月號にて、此の場合は明確な意識の下に、黨員の投票は現在の反動内閣倒壞といふ目的の爲めに(例へば在野黨が政府黨と本質的に均しいとしても) 在野黨に投票するを原則として形勢と事情によつて所謂「影候補」に投票すべきであると云つてをられますが果して之は妥當であらうか。

**北澤新次郎**

無産階級の立候補の無い選擧區では私共は棄權します。在朝在野何れでも既成政黨と因縁をつける事はいけない事だと思ひます。

**山崎今朝彌**

既成政黨倒かい反動内閣倒かいの屁の足しにもならないヨーな者許りの事もあると思ふ。其時は私は棄權します。

**山下式夫**

一、無産政黨よりの立候補なき場合は棄權せしめるが當然と思ひます、ブル政黨に投票することも立候補せざる無産政黨への無效投票も本質的に同一なナンセンスであるから。

一、山川氏の反動政府倒壞の爲めに在野ブル政黨を支持すると云ふ見解は事態の樂觀的非現實的な見方だと思ふ。本質的に同一な反動政黨に對して政權を拵たゞる爲に加勢することにしか過ぎないから、少しでも進歩的な黨を代表する政府が成立だらうと云ふ見解は目下の狀勢では一つの空想であり彼等は政權の爲めには相互に妥協する可能性すらあり得る。

**平野吉三郎**

御質問に御答へ申します。

一、例へそれが明確な意識の下に、黨員乃至は前衞によつてなされるにもせよ、ブルジョア黨(政府黨にもせよ、在野黨にもせよ)に投票することは、一般に無産大衆の政治意識を混亂に導くと思ひます。

私は、寧ろ候補にあらざる同志に無效投票をすべきと思ひます。

**藤田浪人**

無産政黨はドンナに困難しても各選擧區に一人位の候補者を出さねばならぬが、保證金や運動費の關係上止むを得ない時は、斷然棄權するより仕方がないと思ふ。今は反動政黨でも、一度天下を取れば、矢張り前の内閣同様無産階級に不利益なブル擁護をやるのだから、既成政黨は一切信用は出來ない。個人的にいゝ人があるとしても、結局は黨議に支配されるのだから同じことだ。普選だと云つた所で名實ともなはぬ現在では、全無産階級の意志を代表する議員を選ぶことは望み遠し。

**高群逸枝**

お示しの三つのほかに「政治否定」の立場があります。純プロレタリヤの根本的な立場がこれです。

**小川未明**

投票は、我等の代辯者を出すといふ以外に考へたくない。政策のための政策をすることでない。かうした場合、私は棄權します。

**前田河廣一郎**

原則として、最も反動的、資本帝國主義的、侵略的なる内閣を打倒すべきではないか、當面の(最も局限された意味に於て)反動内閣を先づ打つべきが無産階級諸政黨の戰術であると思ふ。無産議政黨の立候補問題は、選擧協定主義に則つて判斷すべきである。

**倉澤生**

無産階級が其の選擧區に無産階級の立候補者を有せぬ時の放棄は非常に重要な問題ですが我々は例へ明確なる意識の下に單なる反動内閣倒壞の爲に於てなされた投票とは言へ本質的に均しい無産階級の敵たる在野ブルジョア政黨候補に投票するのは結局門前の暴行者を追つて裏口から盜賊に入られたと同様です。

この意味で私は候補者に非ざる無産者にいさぎよく無效投票を致します。

**那須皓**

無産階級の立候補無き選擧區に於ても棄權することなく寧ろ無産階級的立場に多少りとも近き候補者へ投票することが可なりと考へます。それは無産階級を彈壓する黨派に對する有力なる抗議の意味に於てゞす。

**金浩永**

反動内閣を倒す目的で在野「×××」に投票するといふことが正しいとは思はれません何故ならば彼等の何れもが反動であつて、ブルヂョア、地主等の代辯者であることは言

を待たね。だからこの場合はしろ「候補者にあらざる無産者に無効投票」の方が有意義だと思ひます。

**無産者寶智**

選舉はどこまでも公正であるべきです、自己の理想を少しでも多く實現して呉れる人を選んで議會に送るのが選舉であります。私は山川均氏の論ずるが如く、選舉を以て政策とするが如き、虚僞的一切の行爲を避けたいと思ひます。それはたゞに選舉の公正を傷くるばかりでなく、一般無産大衆は過去數十年凡ゆる方面に於て虚僞と僞瞞に依つて辛い辛い經驗をなめさせられ、遂に現狀の奈落に突落され、今や反省の秋に邂逅して居るからです。現代民衆の叫びはすべての虚僞と僞瞞を拒否するにあるのです。山川氏の說がよしんば民衆の利益にならうとも、さうした選舉には虚僞の二字が附き纏つて離れないのであります。今や全民衆は各無産黨が虚僞の無い、僞瞞のないことを熱望し、それによつてのみ暗黑より明るみへの一路を求めんとして居るのであります。此秋に當り今又腐敗政黨の二の舞を踏んで虚僞を標榜するが如きは、大衆をして又しても闇々たる迷夢に惑はしめることになるでせう。一般無産階級の要求するものは正義です、何等の虚僞なき處にこそ正義の一路が發見し得られるのです。廣く民衆を目醒めしむるのは虚僞の無い試みでなければならないでせう。

私は候補者に非ざる無産者に無效投票をしたい。然し斯うした投票は一面、主義の爲に社會の輿論を高めて大衆の要望を各階級に知らしめ、他面、次回總選舉に於て無産階級中立候補の意志ある者に對して最も力強い暗示を與へ得るからであります。

山川氏は反動内閣を倒す爲と云つて居られるが、よしんば現内閣を倒壞し得たにしても、既成在野黨が大衆の要求を容れ得るまでに目醒めたものでない以上、資本主義反動は漸次濃厚の度を加ふべき經路上にあるべきことを想像しなければならないと思ひます。かく想像するとき、現内閣を支持するか或は在野黨内閣を樹立せしむるかと言ふことは我々大衆にとつては關係のないことであると思ふのであります。要は大衆をして我々の主張する所を諒解せしむるにあるのである。而して大衆をして諒解せしめる唯一のものは正義であり、虚僞と僞瞞の無い誠であると信ずるのであります。

（三頁より續く）

朝鮮の土地の八割以上が日本資本主義の手に墮ちてゐるのを見ても、あの悲慘な戰爭と無産大衆の犧牲とは、只一部資本家の慾望を滿足せしめるのみである事が解るのである。斯の如く資本主義のために無産大衆の血の出る樣な金を搾り、民衆自體を壓迫しやうとする事に對して我々は絶對に反抗しなくてはならないが、此度の軍縮會議における勞農ロシヤの代表は、全世界の無産階級を代表して、軍備全廢案を持つて勇敢に戰つてゐる。ロシヤ代表リトヴィノフ氏は資本主義列強國の主張する安全保障案は絶對に平和を望み得ないのみならず、軍事的諸同盟によつて相對峙し拮抗せる大戰前の攻守同盟に復歸せしめるものであつて、安全保障は軍備の全廢以外にはない。故に吾人は安全保障案は後廻しにして、軍縮問題の審議に即時着手される事を提案すると述べ各國の委員をして色を失はしめた。各國の資本主義間における衝突は、以前にも述べたる如く、植民地の爭奪が主因であるが、最近、支那、インド、エジプト、ペルシヤ及び中米植民地等において反亂の起りつゝある時、各國資本主義國は一方この反亂を鎭定するため、他方においては植民地爭奪の××戰爭を成すため、各國共軍備の擴張に傾注してゐる時にあつて、ロシヤ代表の軍備全廢案は、軍縮會議に大きな波瀾を起さずにはおかなかつた。然しながら、ロシヤ代表の軍備全廢案は、ドイツ代表ルンストルフ伯の支持はあつたが、廿日、廿一日の同盟委員會において總攻擊を受けて、各帝國主義國のために拒否されるに至つた。露國代表リトヴィノフ氏は、「英國初め各國政府は、軍縮問題に何等なす所なく、それがため今回の委員會は第二議會を開く事を不可能ならしめたのは、彼等が擧つてサボタージュをやつてゐるからである。各大國の代表は表面戰爭絶滅のため苦心しつゝある如くに粧へども、ロシヤの軍備全廢案に反對しこれに代ふる名案を出し得ないのは、彼等列強國が戰爭絶滅の誠意なきものであること證明してゐる。

我々無産階級はこの各帝國主義國の態度に對し猛烈な彈劾運動を成すと共に、勞農ロシャの軍備全廢案を支持し、凡ての軍事費豫算を削除し、帝國主義的侵略戰爭には絶對に反對しなくてはならない。各國帝國主義は、昭和六年の海軍軍縮期限の終ると同時に陸軍の大擴張を成さんとしてゐる。我々無産大衆は、この帝國主義者の横暴と戰ひ、植民地解放のため蹶起し、帝國主義者を打倒し、軍備全廢の實現を期せねばならない。

（三・二二、上杉定義）

月刊の社會辭典
問題
東京市外吉祥寺
一部十錢　問題社

一錢の金もたずに
寶塚へ遊びに行きし
我と彼の友
會へばすぐ議論を交す
二人なり
されど仲好し
我と彼の友

（谷川哲夫）



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 全土戰報

## メーデーの準備はよいか
## 全土の民衆諸君に檄す

**メーデーの起源**　一八八六年五月一日、全米國あらゆる部門の勞働者は、八時間勞働の即時實施を要求して一齊に街頭へ溢れ出し、ブルジョアジーに對する一大示威運動を斷行した。その結果、遂に勞働者の要求が貫徹され、八時間勞働制は、全米國に亙つて實施された。これ今日、全世界の勞働者が、資本家に對する定期の警告日として歡喜祝福せる、勞働祭の起源である。

其後一八九〇年、巴里に於ける第二インターナショナルの第一回大會は、毎年五月一日を以て、勞働者の國際的祭日となすべきことを決議した。斯くて同年五月一日、全世界の勞働者は、自らの團結の威力を示すべく、一齊に休業して、各都市に於てデモンストレーションを行ひ、凱歌を揚げてメーデーを祝福した。爾來三十六年、全世界の勞働者は此の日を期して、階級戰への勢揃ひをなしてきた。

日本に於けるメーデーの歷史は淺い。大正九年初めてデモンストレーションを行ひ、今年を以て第九回を數ふに過ぎない。而も毎年々々官憲の××に依つて散々に蹂躪されつゝある。

**メーデーの意義**　メーデーは、常に資本家の××的搾取に苦しめられつゝある勞働者の祭日である。而して勞働者が資本の國際的團結に對する、勞働者の國際的總動員を以て階級戰へ躍進する勢揃ひの日である。萬國の勞働者は此の日を期して資本の××へ階級鬪爭の××を宣言するの日である。全世界のブルジョアジーは此の日を前にして戰慄し、全世界の勞働者は此の日を前にして其の隆々たる鐵腕を鳴らしてゐる。街頭に於ける勞働者の喊聲は、資本の根幹を搖がすであらう。此の日こそは、黙々たる勞働者が、資本の搾取に對する積極的鬪爭宣言の日だ。國際的勞働者の團結力の如何に偉大なものであるかを知らしむべく、より勇敢なる鬪爭的行動と、より抗爭的なる積極的態度を以て吾等の日、メーデーを祝福しなければならぬ。如何なる宗派主義者と雖も策動し得られないメーデー。吾等はこのメーデーの態度を單にメーデー一日に限らずしてすべての日常鬪爭に持續すべしであらう。第九回メーデーをして合同統一の曙たらしめよ。

**メーデーに參加せよ**　勞働者の祭日である此の日は、あらゆる産業部門にある勞働者の國際的總動員日であらねばならぬ。組織勞働者の揭ぐるメーデー旗の下に、一切の勞働者を參集せしめなければならぬ。全勞働者の國際的團結を以て資本の牙城へ肉迫しなければならぬ。此の日一日、あらゆる産業に從へる勞働者はハンマーを捨て、鶴嘴を捨て、鋤鍬を捨てゝメーデー旗の下へ參集せよ！資本の暴虐に抗爭すべく工場を捨て、田園を離れ、街頭に出てメーデーに參加せよ！此の日一日、如何なる仕事をもしてはならない。資本主義滅亡の弔鐘を打ち鳴らすべく彼等の牙城へ突撃せよ！勞働者國際的團結の前には、恐るべき何者もない。メーデー旗の靡く所何者も近寄せるな。萬國の勞働者は資本の鐵鎖を斷ち切り、最後の勝利を獲得すべく街頭に出て、我等の旗、メーデー旗の下に集まれ！勞働者はメーデーに參加せよ。全土の民衆諸君、メーデーの準備はよいか。

## 背嚢雜話

### その一

戰ひ我等に利あらず、富山縣第二區の無産黨及解放團體關係者は高岡市に協議會を開き聲明書を作成した。ブル政黨政友民政五名以外の候補なく、無産者の力未だ及ばざるを知りて鋒を收めたのである、兵をして疲れしめ錢財を浪費するは吾人の欲せざるところであつたからである。かくて演說其他によつて我等の主張を大衆に打ち込む事にした。いまこゝに當日各派の代表出席者を紹介して諸君に共に前進する我等の鬪士を記憶されんことを希望する。

城寶光、沼田一正（以上自治倶樂部）牧野武夫、鉢蠟幸吉、萩原貞一（以上勞農黨高岡支部）紅粉一郎、松本福督（以上勞農黨新湊支部）河原治作、古瀨外吉（以上日農黨富山縣聯合）入江榮作、（海老紅勸勞黨）中島安太郎（進め社支 ）

### その二

高岡勞農支部主催の各候補立會演說を中止せしめた高岡署の行爲と立會を拒絕した政友會の上野安太郎、石原正太郎の態度は卑劣なものであつた。

快諾した松村謙三、土倉宗明、山田毅一の三君には敵ながらも男らしさがある。

### その三

右の話で思ひ出したのは北陸タイムスの横着さ加減であつた。同紙は最初土倉派を援くるが如き論調をなし後に致つて鐵道次官の應援に力を入れ社長及幹部は上野次官に一票を投ぜられたいとハカキをまで飛ばした。それはタイムス社長が經營する加越鐵道に對する七萬圓とかの補助が鐵道次官との間に成立したものであると云ふ。政治道德とはこんな公然の秘密を云ふのかも知れぬ。

### その四

今度の選擧騷ぎで馬脚を現はしたのはまた例の日農黨だ、吉田平公は土倉宗明の應援演說をやつ



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て廻り、宮崎斉知公はまた賣名をやりをつた。事毎に賣名する彼等のずる横着をたたけ。これに對する民衆黨、勞農黨の對度には堂々たるものがあつたのである。

**その五**

それから一言して置くが富山縣農業團體聯合會なるものゝいかにごまかし者であるかと云ふことについて富山縣の農民諸君に注意して置く。彼等はいつも第一に社會主義の攻撃中傷をやるに眞劍であつて農村解放運動は協調と云ふごまかしまくる不眞面目なヨクヨタ野郎の集團である。もつとも幹部二三人のごまかし團體には相違はなかろうと思ふが氣を付けよ！

（越中　辻本次郎）

## 長野縣民に訴ふ

過般の總選擧に於いて、吾等の唯一の候補者、藤森氏は落選した。然しそれによつてより以上の階級的情熱の激烈な鬪爭が到る處に新らしく　れたと雖も教育國の吾が長野縣は果して今如何なる位置に居るかを、はつきりと吾々は階級的立場から先づ其を見極はめねばならぬ、何處に教育國たる誇りがあるか。僅づか一人の無産候補を立て、全鬪爭力を其處に集中せしめながら落選とは何と云ふ慘めな敗北であらう。それに引換へて、ブルジョアジーの障害を見よ。あの彼等の得意然たる僞瞞振りを。長い間、苦しみ抜かれた吾が無産大衆は依然として既成勢力下にあるに非らずや。然らば誰か、長野縣を教育國と叫ぶ。然り、吾長野縣は最もブルジョアー教育の發達せる國である、それだけ既成勢力は吾が被支配階級を壟斷して居るのだ。吾長野縣の特徴は部分的には進展し居ると云へよう、然し大勢は未だ、深い迷夢に酔ふて居る。

階級鬪爭を以つて危險とし、新思想を以つて墮落と叫ぶ幾多の青少年のあるを知れ。因襲と金權に支配され、自己防衛の團結を忘れ、ひたすら利己主義を貪りつゝあるあの女工の群れを見よ。ブルジョアー教育を以つて唯一の傀儡手的とし、教育國と賞賛する官吏、教育者を注視せよ、金權、法權の奴隷として××を加へつゝある官憲を見よ、これが教育國の吾が信洲だ。××を崩に傾く迄、ブルジョア帝國主義を鼓吹しつゝある當局は今、何を目算しつゝあるか。知らずや、彼等の魔手の向ふ所を。農村疲弊に伴ふ産業不振、これこそ既成政治の唯一の贈物である。僞瞞と搾取の實こそ此の極端な貧乏の社會相そのものである。

長野縣を風靡する不景氣風は一體何時何處から何故走つて來たのか。産業の旺盛な富國の一たる信州が何故現在の如き、最極端な貧乏國と變り果てたのであらうか。何故生活の糧た發掘も衰へ、たゞく切齒扼腕耕地の荒廢を防めつゝ孤食してその日の露命を生かして行かねばならぬのか。

知れ、縣民！目覺めよ。無産大衆、明治維新は何故起つたか、そして如何なる人の手によつて如何な經路を經て成就されたか。徳川三百年間、同じ諸君の祖先は彼等のために、丁度、諸君の現在の樣な境地に同じ樣に押し込められて居たのだ。「百姓はしぼれるだけ搾れ」「死なせぬ樣に搾れ」と時の支配者に恐喝せしめる迄、諸君の祖先は諸君の現在の立場の樣に無自覺に無關心に、ならぬ勘忍するが勘忍で、耐へ忍んで來たのだ。然し同じ人間である以上諸君の祖先は自由を叫んで奮起したのだ。一時は異端者と罵詈され、裏切者と嘲笑せられ、恩義知らずと怨恨もせられたは諸君の祖先である。正義は正義である、大衆の味方に大義の味方である、諸君の祖先も同じく正義の爲めに鬪ひ、殉じて明治維新が完成したのだ。不正な支配者は必然的に打倒されるは當然である。×××たる現在のブルジョアーも丁度明治維新と同じ樣に××してこそ、諸君自らの全大衆の明い昭和維新が來るのだ。

多年の貧困と餓死はすべて現ブルジョアジーによつて爲されたる悲慘事である、諸君の父は戰場に彼等の僞瞞によつて、愛國の美名の下に斃れた。愛國とは決して一ブルジョアーの利慾の爲めに起る國際的衝突にブルジョアーを助けて一國を貧困のどん底に落し、無産大衆を困窮せしめるの意ではない。

過去に於ける××、××の戰爭もその起源を探究するならばすべてがブルジョアーの專横による利慾の鬪爭による國際衝突である、無産階級によつては戰爭程禁物なものは二つとない。戰役に於いて最も困窮し、最も酷使せられ、所謂、愛國者となるのは無産者である、それが爲め、何時も無産者は永遠の奴隷の如く營々不眠、搾取者のため骨身を碎いて努めねばならなかつたのだ。資本家の利慾を滿足せしめるには尊い無産者の幾つかの生命は灰盡と歸され來た。そして今なほ諸君は同じ樣に直接間接、支配者によつて、資本家の爲め、資本家によつて、支配者のために搾取され續けて居る、咄！此矛盾を究明せよ。諸君の貧困の起因を。そして日本の現今の政治を。

正しき生産者が常に苦しみ、或は餓死すると云ふその矛盾を飽く迄、究明せよ。其處には必らず資本主義、帝國主義の魔手がある事を知るであらう。

起つて鬪へ、自己生存の爲に、そして諸君の味方である無産階級的組織體に集つて結力し、彼等を打倒せよ。

青年は日本勞農青年同盟へ無産大衆は日本勞農黨支部へ。速に加盟入黨して大なる力によつて鬪爭せよ。

（日本勞農青年同盟の一分子）

## 未組織勞働者の悲哀

ブルヂョアが金城鐵壁と誇る我半田町も時代の奔流を止める事が出來ず遂に無産黨支部が生れた。それは吾々勞働者にとつて喜ばしい事には相違ない。だが何故か、支部鬪士諸君は未だ一度も東洋紡績半田工場の無産大衆には呼び掛け樣とすらしないのだ。此の知多郡に於て唯一の大工場のプロレタリアを除いてはプロレタリア解放運動の必要は無いはづだ。敬愛する半田支部鬪士諸君よ、法の名の下に無惨にもこき使はれ、牢獄に繋れて居る二千の男工女工の爲に、否全無産大衆の爲に速に組合組織運動に取り懸かられんことを御願致します。

それから微弱な僕等の運動ではあるが、最近の狀況を報告する。此の工場内では政黨運動よりも組合組織に全勢力を集中する事が最も必要だと思ひます。吾々少數同志の運動が着々功を奏してゐるのは組合組織に努力してゐる爲では無いかと思はれます。何分内部には指導者が無い爲吾々の運動は實際困難である。唯一、



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二回の演説會に刺戟され手を握り合つた同志が廿七名しか無い。そして工場内では、月に二回、反動的な彈壓的な精神修養と云ふ講演がある。工場長を始めとしてボスに至る迄、反動教育を何も知らない男工に、女工に強ひるのだ。だが彼等も彼女等も正と邪の見分けはつくのだ。それは僕等の運動が徹底して行くに連れてその聽衆の減じて行く事だ。その現像が現在に於て吾々唯一の喜びだ。斯の如く現在二千の無産大衆はブルの魔手に懸かるか、吾々の陣營に投ずるかと云ふ重大の秋だ。

希くば政治運動に沒頭せる知多支部闘士諸兄よ！ 政治闘爭は組合闘爭より轉廻さるべきものだ。否それが原理だと思ひます。故に一日も早く吾々の戰線を擴大し組合組織に全勢力を集中された〔ひ〕事を未組織勞働者の僕より眞心こめて御願するのです。

半田工場の勞働大衆よ！ 忍從より反逆へ躍進すべき時は來たのだ。男工よ聞け！ 女工よ立て！ もう講演會なぞ一人も出席してはならぬぞ。それは吾々をより搾り吸はんとする講習會だ。速にブチコハしてしまへ。そして俺達は互に固く手を握つて足並を揃へるのだ。

さうだ五月一日は迫つたぞ。用意せよ！ 來るべきメーデーこそ我等がデモンストレーションの決行出來得る樣に!!

東洋紡半田工場の全勞働者よ團結せよ！

萬國の進め諸者よ萬歳！

（愛知半田 稻葉勇）

# 傷ましき同志のために

今日まで、無産階級解放運動に從つて、資本家權力に依つて、失業に苦しみ、又は鐵窓に衰へ行く、私達の同志は、最も悲慘なものであります。

一爭議に參加したばかりに、會社から解雇されて、失業のドン底に苦悶しつつある、兄弟姉妹のあることを、諸君は知るであらう、彼は多くの家族を、右に妻子を、左に老ひたる父母をかゝへて、明日のパンに惱んでゐる、それのみか、家主からは立退を迫られ、米屋、電燈屋からは強き催促に脅かされるではないか。

一犧牲的行動を以つて、爲政者權力に依つて投獄され、暗き牢獄に解放の光見ず、淋しくあへぎ苦しむ同志の姿を、諸君は偲ぶであらう。彼は勇敢に闘つた、或る時は多くの勞働者を代表して、貪婪飽くなき資本家に、勇敢にも單獨を以つて、ブツツカつたではないか、又長き日月に渡れる、持久爭議に、疲れ切つた多くの兄弟を見るに忍びず、蹶然起つて××の力をもつて打開したではないか。

無産階級解放の、戰線に立つて、倒れたる俺達の社會建設へ」と叫び戰つた、闘士の引れ行く姿を、諸君は見るであらう。

無産階級解放運動に依つて、斯の如くに、我等の尊き犧牲者の、いろいろの哀れな姿を、諸君と共に、涙を拭つて速かに、犧牲者の救濟と慰安を講ずべく相談しようではないか。

私は今更ながら、吾が戰場に必要なるべき犧牲者救濟機關の缺けてゐることを痛感するものであります。そして私は今急速に、社會運動と勞働運動に依つて生じたる、失業者と犧牲者の、救濟と慰安に備へるべき、機關の、起草案に努力して居ります。

進め社同志の兄姉よ！ 此の私の今なさんとする、計畫の成立の日を迎へて下さい、そして親愛なる兄姉によつて、大いに贊助して下さることを信じて、こゝに訴へます。

兄弟よ、俺に備へよ！ 同志よ、健闘あれ。

（高田 進）

# 官制青年團を脱退す

支配階級は吾等青年團に向つてその盲從を強制して、自らの地位の自らの榮華の永續性を信じようとしてゐる。支配階級は、青年闘を官僚主義、軍國主義等々のあらゆる反動網の中に眠らせて、自らの強大な護衛兵たらしめんとする。しかし乍ら、吾等青年は、何時迄も彼等の魔手に弄弄せられてゐるものでは無い。時代の流れは、今や青年の政治的自由獲得の運動に、軍國主義反對の運動に青年の參加を餘儀なくせしめた。

長い間、官僚の魔手に人形の樣に動いて來た吾が津田村青年團は、今や奮然として彼等を蹴飛ばして、眞の先驅者青年團を結成した。吾が青年團は、今後、單に自らの青年團に限らず、他青年團の青年大衆を動員して、官僚主義、軍國主義の撲滅に突進するであらう。

左に掲げるは津田村青年團の聲明書、宣言、綱領である。

## 聲明書

我が津田村青年團は團の宣言並綱領を實現する上に於て官制青年團の現狀が到底將來に於ける青年の進歩する事を認識し茲に大會の決議に依り八束郡青年團より脱退する事を聲明す

昭和三月一日

## 宣言

茲に津田村青年團大會を開催するに當り左の如く宣言する

若連中が官僚に統制せられ青年會を始めてより以來歷史の流れは漸く青年團と謂ふ自治的團體に發達した、然れ共最近の時勢の流れは到底現時の青年團の狀態を以て滿足はしない、日毎に變遷する社會相は昨日より今日今日より明日へと進んで行く、一世を動かし文化の先鋒として起つべき青年團の步みが果して是に伴ふものがあらうか、雜然として起り來る社會問題は何を物語るものであらう、世は混沌として暗深き現狀である見よ、東西古今一世の行詰りを打開して正義の爲勇敢に戰つたものは皆若き青年であつた、フランス革命然り、南北戰爭然り日本に於ける維新の革命亦然り、と謂ふべし、今や社會は新しき青年の躍出する事を期待する、吾等の敢然たる活動を待つ世界の大勢を達觀して社會の眞相を解剖するの理智と正義の爲には何物をも辭せずして戰ふの意氣こそ吾等の本領であらねばならぬ、吾等は此の大理想を完成し實現する爲更に一步を進めて團結しやう、そして勇敢に進まう

## 綱領

一、我等は團結の力に依り凡ゆる不合理なる傳統を打破し合理的に青年團の改造を期す

一、我等は現下最も急迫しつゝある政治問題及社會問題に對し科學的研究を期す

一、我等は凶々たる排他的感情を放擲し人類愛に基く世界の徹底的平和の實現を期す

# 宗派分裂主義者の亂行報告

私は先の總選擧において東京第五區の日勞黨公認加藤勘十氏の選擧運動員として活躍したが、すでに日勞新聞、其の他「進め」誌上に發表されてゐる如く勞働農民黨の卑怯下劣な態度をウンと見せつけられて實に秋和松五郎一派の分裂主義者の撲滅を痛感した。彼等が選擧協定を破つて立



Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

候補してからの狂行は、宛然無產階級の要望を裏切り、政府に買收されたものゝ如くであつた。

では、彼等裏切者はどんな事をしたか。一例を引かう。

選擧も明日に迫つた十九日の日品川の城南小學校で演說會を開催するや、例によつて滿員の盛況であつた所、演說最中、背後に陣取つてゐた一團がドカドカ大きな音を立て乍ら、出て行つたので、不思議に思つて、跡をつけると、其處には、「加藤を出すな秋和に入れろ」のビラが撒布してあつた。亦大井町の立合川小學校の時もそんなビラを山の樣に撒布した。

この外「加藤勘十を出すな」とか、或は日本共產黨の名によつて「墮落幹部加藤勘十に入れるな」と云ふビラを撒布した。彼等分裂主義者はかゝる卑劣な方法によつて妨害した爲め、約三千票の票數を奪はれたが、それは皆ゴマかされた者の投票であつて、すべての民衆は加藤勘十氏に投票し、一萬票を突破した。秋和の犯した協定破壞は、民衆黨の小川君の立候補を伴ひ、當然當選すべき加藤氏は落選した。しかし、民衆の要望は加藤君へ加藤君へと向ひ、秋和の沒落はすでに時機の問題である。

加藤氏が何票の差で破れたかは既に諸君の知られるところである。

最後に、告しておきたいのは、勞農黨が選擧協定破壞などは平氣でやり乍ら、無條件合同論などをもち出してゐるのだ。彼等の爲すことは、實に卑劣で無產者の進德など少しも省みないやり方であるから注意しなければならない。吾等は戰線の統一を希望するからこそ、宗派的分裂主義者の排除を急務とする。

勞農黨の分裂主義者は、分裂主義排除といふ日勞黨の態度は前衛そのものゝ排除だと云つてゐるが、分裂主義者は前衛でも何んでも無い。前衛らしく見えるのは左翼的の口吻ばかりである。果して勞農黨內部にも二派の對立が初まつてゐるから、分裂主義者はやがて葬式されるだらう。

## 鬪爭の首途　(山田生)

大阪西淀川に丸五ゴム會社と云ふ惡資本家がある。此の工場に約五十人の無產の兄弟姉妹が、十二時間も十三時間も酷き使はれてゐる此の牢獄のような工場に最近江州からわざわざ職を求めて來た二人の可弱い女性があつた。彼女等は此の工場で雇ふと云ふので江洲の住みなれた家を畳んで、大阪に居を移して勤めることになつたところがどうだ、二日程經つてから、此の工場の手代と云ふ鬼見たような野郎の前に引き出されてそして、

『お前等は身體が弱そうだから、若しも此の工場で働いてゐる內に病氣にでもなると厄介だから、今日限り斷る』とて、何十里と云ふ片田舍から、家迄たゝんで出て來た、誰一人便りもない彼女等を、パン一片もない失業の街頭に放り出したのだ。

こんな血も淚もない鬼のような資本家の工場に現在働いてゐる兄弟姉妹は恐らく非道い目に會つてゐるだらう。話しに聞けば此の工場の兄弟姉妹等は、最近勞働組合に這入ることになつたそうだ。

地獄のような、牢獄のような、豚小屋のような丸五ゴム會社に働いてゐる兄弟姉妹等は早く勞働組合に這入つてくれ、一日も早く團結してくれ彼女等二人の運命も、やがては諸君等の上に、も、たつた今めぐつてくるのだ。

勞働者は勞働組合へ

吾等はこれによつて肥るのだ。

資本家はこれで瘠る。

資本家が瘠せない限り吾等は肥れない。

萬國の勞働者團結せよ。

―(西淀川進め青年同盟)―

## 血戰の巷にありて

我國鑛山の發祥地、足尾の山に四たび陰慘の氣は漂つて來た。且つて町會議員六名を出し、昨年亦縣會議員一名を送つて、政治的に段々進出して來た足尾日勞支部に對して露骨なる壓迫の魔の手は揮られ、我國勞働階級の上に荒れ狂わんとしてゐる。新らしく起つた勞働階級の進出に驚ろける、古河王國は總選擧においても麻生を落選させずにはおかぬと叫けんで、日勞黨麻生候補の叩き落しに全力を注いだ。全國において相攻めいだ政友、民政が足尾において完全に共同戰線を張つたのみか、古河は露骨なる選擧防害をし、こゝのみは官憲の力も及ばなかつた。「麻生に入れるなら首を切る」「鑛夫組合を脫退せずは解職する」これは總選擧における古河の標語であつた。それがため組合でないもの迄も組合員と見られる事を恐れ、脫退屆を出したと云ふ悲喜劇さへも起つて遂に麻生書記長の努力も空しく落選したのであつた。然しながら、古河鑛業所は、この火の如き猛烈な戰の跡を見て戰慄し、足尾の地より日本鑛夫組合の跡を絕たんと豪語して總選擧後における我等の同志、足尾支部の幹部五名の馘首を始めとして、最も勇敢なる鬪士七十數名は鑛山より追れたのであつた。何それのみでなく吸血鬼古河は第二、第三の馘首準備を整へて忍從八年の長い間の苦しと鐵の如き堅き意志によつて築かれた足尾鑛夫組合を一掃にして殺さんとして來たのであつた。飛報に接した日本勞働組合同盟よりは續々鬪士は送られ日本勞農黨、日本鑛夫組合を三位一體として、古河王國に對立し。足尾の町は寂として聲なく、暗澹たる雲、悲壯の氣は足尾の全山を包んで殺氣を孕んで來た。嵐か、颶風か、この兩者の間には何事か起るへき事を啓示した。悲憤の淚に拳を握る若き鬪士、苦計を廻らす老戰士、戰ふべきか、忍ぶべきか、息つまる樣な協議會の數刻は過きた。然し一度地下數千尺の下に働らく坑夫の長い間の經濟的壓迫と、數旬前の總選擧の大彈壓に疲れ切つた姿を見た時、この金力と權力をもつて挑戰せる古河王國と戰わしめる事は、苛酷と云ふりもむしろ悲慘であつた。我等は悲憤の淚を呑みて我等の鬪爭力の回復を待つてよりの外はなかつた。然し我等の同志は死をもつて鑛夫組合の牙城を守つてゐる。全國の同志よこの敵へなき古河王國の橫暴に對抑せる足尾の同志を應援し、苦節八年、我等の血と牢獄との犧牲によつて得たる足尾の地を守れ。吸血鬼古河王國を倒せ――(三月二十一日足尾に於て

―(定義生)―

▲總選擧當時、山梨に於ける勞農黨支部の一部幹部の裏切行爲に就いての聲明書は申込次第無料送呈



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 朝鮮社會運動概觀

## 史上特筆すべき一九二七年

三角山人筆
金浩永譯

**一九二七年は朝鮮社會運動（社會運動といふ言葉は曖昧な表現であるが、便利上以下そのまゝ使用する）史上實に多事、重要な一年であつた、理論上實踐上多くの重要問題がこの一年に提出解決された。**

### 一、方向轉換肯定

正友會執行委員會が宣言を發表した、その中に『我々の運動自體がすでに從來局限されてゐた經濟鬪爭の形態から、それより一層階級的であり、大衆的であり、意識的である政治形態に飛躍しなければならない轉換期に達してゐる」云々の一句を發表したのは一九二六年十一月十五日であつた、今我々が該宣言を通讀すれば、我が社會運動の全過程に對する認識に於て、亦問題の提出方法に於て幾多の錯誤が發見されるのは事實である、だがそれは當時に於ける政治鬪爭の問題を提出した最初の發言者であつた。これをモーメントとして、政治鬪爭を開始すべきか否かといふ問題が朝鮮社會運動者間に廣汎に、激烈に問題になつた。

斯の如く一九二六年末に問題化した政治鬪爭の「肯定」「否認」の問題はその解決を一九二七年に繰越したのである、故に一九二七年の朝鮮社會運動の最大任務は繰越したこの問題を解決することであつた。

從來の朝鮮社會運動は明かに經濟主義の運動であつた、思想宣傳以外には地主に對する小作人の爭議、工場主に對する勞働者の爭議の如き部分的である經濟鬪爭が社會運動者の最大日常關心事であつた、我々の間には眞に正しい政治意識も未だ注入されてなかつたし、亦大衆的政治鬪爭の組織もなかつた、一般社會運動者はその同志間に於てすらも政治鬪爭を云々する者を發見すれば、その人間に一種自治派といふ烙印を捺すのみで滿足─する狀態であつた、それは明かに我々の意識が原始的であつたからである、斯かる意識は運動の初期過程に適應する意識で、一般的無產階級の鬪爭過程は大概經濟鬪爭から轉換するものである、無產者の意識もそれに適應して眞に正しい政治意識、社會主義的意識に轉換するものである。

しかるに正規資本主義的發展を遂行し得ず一個の植民地として全世界資本主義の全體的に×××××××××形勢に合流しつゝある朝鮮社會に於てすこぶる後進的に展開された朝鮮社會運動はその發展過程の[illegible]であつた、經濟鬪爭の段階が不充分であつたにも拘らず、亦鬪爭の主體の發展が幼稚にも拘らず鬪爭を政治的に轉換したのである。社會運動に於て經濟鬪爭も偉大なる意義と必然性を持つたものでそれを過少評價してはならないことは勿論であるが政治鬪爭と連結されない經濟鬪爭といふのは結局根本的に解決する爲めの鬪爭であり得ない。故にマルクス主義は非政治鬪爭主義の諸社會主義と對立するものである。

故に朝鮮社會運動が從來の政治鬪爭否定から轉換してそれを肯定したことは劃時期的發展を意味するものである。

この轉換は一九二七年の初めから活發に全朝鮮各地の社會運動團體に依つて論議され、その結論は肯定といふことになつたのである。

### 二、方向轉換否定

前述の如くこの轉換は我々の運動の何よりも大きな發展を意味する、だが發展は、それが大きければ大きい程一層障碍を打破せねばならぬ、我々の運動の政治肯定の轉換が一聯の鬪爭を××××××××轉換する運動に對して最初の最大の對立物は我々の陣營内の政治鬪爭否認の思想、即ち從來の意識を保守する思想であつた。

その代表的なものとして我々は前進會の「檢討文」をあげられる、その檢討文及びその支持者達の[illegible]は朝鮮に於ては公然な政治鬪爭はあり得ない、と、もう一度彼等の理論をあげて見やう。

「目下朝鮮の政治的現實に於て、若し公然な政治運動があるとすれば、そは必ずそうした（即ち檢討文がいふ、被壓迫民族の民族主義にならずして、かへつて帝國主義走狗的運動、反動運動、反革命運動だと――（筆者））消極的、隨落的である政治運動以外にあり得ないことは明瞭な事實である」（第一節）

「しかるに目下朝鮮の政治的現實としては非公然な政治的鬪爭性質の民族主義運動はあつても、いやすでにその基調をならし進行中であるといひ得るが、そうした民族主義運動のみでなく公然たる反帝國主義的民族主義政治運動は到底その言論さへも許諾されない。

萬一民族主義的實際政治運動の開始される時期を云々するとすれば、そは現下の政治的形態が變遷され、少くとも半植民地化した後でなければその可否取捨を云々することは出來ない「故に現下の朝鮮に於て萬一實際の政治的運動が出現するとすればそは必らず大衆の正義兵矢を瞞避する爲めに民族主義運動を假面に、粉粧して出來る一部階級功利號の屈服的妥協的であるところの政治的運動にすぎないであらう（第二節）

「政治的形態に、飛躍するといふことが政治的鬪爭の形態

のみでなく實際的政治運動の形態（檢討文は政治鬪爭といふ用語と、政治運動といふ用語を區別して嚴しく對立さしてゐる——筆者）に飛躍するといふことだとすれば、そは益々朝鮮民族運動發達の特殊的實際的情勢と時期を忘却した盲目的政治狂のいふことではなからうか、我々の運動自體がいつでも實際的政治運動は抛棄しなければならないと固執するものではない、だが朝鮮に無產階級的政治運動があるとすれば、そは必ず日本の無產階級的政治運動發達に左右されることを知らねばならぬ、しかるに日本の政治思想は今や「デモクラシー」的に轉換しつゝあるではないか？」（第三節）

　以上引用の如く「前進會檢討文」の政治鬪爭否定の論據は、朝鮮では政治運動はあり得ない、あり得るものは走狗的のみだといふが、それは同時に政治鬪爭に對する一般的理解を持つてゐないことを自ら充分に暴露してゐる。

　それに拘らずこの檢討文は相當の支持者を持つてゐた、しかしそれは運動の發展に對して對立せざるを得なかつた、從つて前進する運動は斯の如き非マルクス主義的對立物の克服に努力しなければならなかつた、そうしてそれは畢竟完全に克服された。

　今に至つては朝鮮社會運動者の間で「俺は政治鬪爭を否定する、朝鮮には公然な政治鬪爭がありえない、あるとすればそれは走狗的運動だ」といふ者は發見し難い、かくの如く從來の非政治主義的意識を抛棄し得たことは一九二七年の功勞である、一九二七年はこれだけを見ても朝鮮社會運動發展上實に意味深い、意義ある一年であつた。

## 三、協同戰線

　前述の如く朝鮮社會運動者は從來非政治主義的思想を抛棄して、廣汎なる政治戰野へ進出し得た、だが、其中に於てその本質上平坦、簡單でなかつた、その歩みが一歩々々具體的に前進すればする程その自體の力で提出、解決しなければならない難問題が疊出する。

　我々は政治鬪爭を開始するに當つて當面何者を最大對象とすべきか？　亦その者に對して如何に鬪ふべきか？　これが當面の最大問題として運動の轉換と同時に提出された。

　これに對して我々の運動の現段階を正確に認識した「運動者」は次の如き結論を得た、即ち我々は我々自身の過程的任務として民族的×××獲得の爲めに鬪はねばならぬ、そうしてその鬪ひにあつては我々を先頭として總ての反帝國主義的同盟者を協同して×××協同戰線を組織しなければならない、といふ結論を得た。

　この結論は正しかつた、我々の戰略の基準となりえる朝鮮の情勢は大概次の如くである。

一、日本の植民的地位と日本の完全なる獨占的×××××××××××。

二、封建的遺制の幾多の殘存とそうしてそれが日本帝國主義に依つて保護されてゐる事。

三、民族ブルジョアジーが極度に微弱である事。

四、プロレタリアートの發達されない事（だがその鬪爭の主體的條件があらゆる黨派に比べて優越な地位にあること）

五、人口の大部分が貧窮であること。そうして、耕作制度が幼稚で封建的であること。

六、略

七、ロシアにプロレタリアートの國家が存在してゐること。

八、日本無產階級の政治的に理論的に急速に發展したこと。

九、中國國民革命運動の急速度に進展したこと。

　等で要約出來る、斯の如き情勢、亦朝鮮民族運動の現段階の實踐上特徴は我々のその結論の正しいことを證明するに足りる。

　そうして斯の如き認識が正當であることは實踐に於て活潑に證明された「民族的單一協同戰線の結成」「新幹會支持」の聲は全朝鮮、それのみでなく海外に於てまで絕對的に高調された。

　だが斯の如き重大問題が平和無事の裡に解決される筈がない、事實上その問題に關して朝鮮革命運動者間には猛烈な對立が展開された、我々自ら民族的×××獲得の爲めに鬪はうといふ理論に對して反對の鬪が起つた、反對は大概鬪ひに對する反對の形態、即ち組織問題から起つた兩黨論がそれである。

　協同戰線に對して兩黨論を主張した理論の代表者として、朴元熙女史、ソルヌ氏をあげる、彼等の理論は次の如くである。

「漠然と特殊といひ後進民族亦は國家が帝國主義に對抗するには新興資本階級と無產階級の利害が一致する點があるから一致した行動をとれ、といふことは書齋で見たり聞いたりした原則論の觀念遊戲に外ならない」（朴元熙——朝鮮日報）

「專制××××××するにカテトマン必要で、亦意義があろか？　我々は社會民主黨の必要と意義も認定し、尙×××××必要と意識は何よりも重大で、亦深切であると考へる」

「民族的單一黨が組織されたとしやう、それだからその黨のみで總ての問題が解決されるのか？　黨が組織されたら××任務を行はれるのは、勿論である、だが我々の××××××任務だけしか成就出來ないことを考へてゐるのか？　そうしてその黨の構成要素と本質を解剖して見やう、同一な主義思想を持つた者が同一な目的意識を×××××××？　或は中國の國民黨をいふだらう、だが中國國民

黨は三民主義で結成されたのではないか？　しからば主義思想も目的意識も現實問題でない、たゞ政綱と政策が同一であれば黨が成立され得て、亦黨をして活動し得るとしやう、だがその政綱政策を支持して實行するものがどんな分子と混合體になるかを考へる必要があるのではなからうか？　勿論短期間の臨時的一時的集團ならいざ知らず、相當な期間を存續される組織ならば構成分子の混合體は內的衝突が起つて、外部に對する力的表現はなされ難いではないか―要するに主義思想が異ひ亦目的意識の異ふものが同一組織を持つことになれば內部的爭ひが絶えないであらう、從つてその運動は前進でなく破壞である」（朝鮮之光第六十八號）

この兩黨論は文書的には活潑に發表されなかつたが、中央協議會當時及びその前後に口頭でより多く發表された、そうして口頭で發表された兩黨論の中には上述引用文の論據外に我々が別に無產政黨を持たずに協同戰線に入れば階級運動が瓦解するといふ重要な論據があつたことを看過し得ない。

兩黨論は明かに誤謬であつた、現段階にあつての我々の民族的任務を理解しえなかつたのと左翼小兒病的傾向がその理論？を成立させたのであつた、だがそれは中央協議會に於て決定的に敗北した後までも相當な支持者を持つてゐたのは事實である。これが發展しつゝある我々の運動に對する第二次の對立物障害物であつた。

## 四、清算派傾向

（一）無產階級を先頭隊として全民族的協同戰線を結成し得た我々の運動に對して我々自體の陣營內に於て先づ發生した對立が兩黨論であつたといふことは前述した所であるが、協同戰線論に對して、元來この兩黨論といふ一極端の、その外に又もう一ツ極反對の傾向が對立してゐたのであつた。

協同戰線に醉ふて階級の獨立性を忘却する無原則、協同理論が即ちそれである。

即ち現段階に於て、朝鮮社會運動者が考へる途に三ケ條の區別があつた。

一、協同を全然反對する途。

二、階級の獨立性を拋棄する協同戰線への途。

三、階級的性質を嚴重に保全しつゝ協同する途。

そうしてその中の三が眞に正しかつた。

だが民族運動　階級運動を形而上學的に、分離して考へる運動者にあつては彼等の目に見えるものが唯だ前二條！の途だけで、第三の眞に正しい途は見得ない、彼等にあつては連結しえない兩極端の途が見えるのみだから階級的任務のみを肯定して協同を拒絶するか、民族的任務のみを肯定して階級的獨立性を消解する協同を唱へたのだ。前者でなければ後者、後者でなければ前者、その外には別な途がないことになる、前者を左翼小兒病といへば、後者は清算派的である。兩者は皆運動を誤路に誘導して萎縮又は頽落させるものである。

故に眞に正しい途を進みつゝある運動はその自體陣營內の斯の如き兩極端の傾向乃至思想を克服、排除しなければならなかつた、即ち一方からは極左思想と鬪爭すると同時に、もう一方からは清算的思想と鬪爭しなければならなかつた。

しかるに一九二七年の朝鮮社會運動は前述の如く、その兩者中前者即ち極左翼思想‖兩黨論と先づ激烈に鬪爭し初めた、がそれは兩者が同時に出現されずに前者のみが強力に出現した爲めである、だが後者即ち極右翼思想‖淸算的思想が終りまで出現されない譯はなかつた。

それは果然一九二七年末の兩黨論が完全に無力なものになつた後に擡頭するに至つた。東亞日報に「當面の諸問題」を發表した東京張日尾氏と、朝鮮日報『新幹會とその任務に對する批判』を發表した尾崎氏をその傾向の代表者としてあげる。

（一）張日尾氏は政治運動を論じて「我々が政治に進出する第一步は運動をして社會、民族の兩個陣營といふ觀念を棄てゝ、たゞ民族唯一戰線を作らねばならぬ、斯うした見地に於て私は社會運動が「階級的といふ」概念を棄てゝ斯うした見地から、あらゆる當面問題のみを標識にしようと主張する……或る者はいふ！現下民族單一黨の實現を主張するのが即ちそれではないかと、だがこの問題に理論根據を供給する論家達が括民族運動を、實際運動として又世界的過程に於て辨證的に認識把握してゐない爲めに……單一黨認識は當然に「無產階級的といふ」標識の撤去を要求したにも拘らず、彼等は懷疑しながら未練を持つてゐる……運動をして無產階級的運動だ、社會運動といふ者を地下室へ追ひ込め！　これが朝鮮運動の現段階が要求するスローガンだ」（「當面の諸問題第九回）

「或る者は右翼になるものであり、或る者は改良的になるものであり、又或る者は左翼であり、或る者は非妥協派で、誰某誰某がやる運動は必ず目的に止むであらう、自治運動になるものだから、排擊しようといふ等の抽象的觀念的論法を排して先づ結成してみやう（同上第十四）

尾崎氏は協同戰線に於ける無產階級ヘゲモニー―戰取の必要を高調するものに對して憤慨していふ、即ち「兩大主義（即ち民族運動と社會運動）間には思想的批判と政治的意識を混同して感情上から常でない乖離があつて、客體を相對とした目的意識を樹立し得なかつた爲めに互に集團的に容易ならぬ溝を持つに至つた、誠に不祥事であつた、だが尙加速度的、層段階的に



Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

切迫して來るあらゆる情勢とあらゆる條件は前衞意識分子の自覺を激發して遂に兩大主潮を擧げて合流澎湃にする新機運を成熟さしてしまつた」

（新幹會とその任務に對する批判第一回）

「レーニンはもう早くも植民地に於ける獨立した段階運動がまつすぐに覇權を握つて進み得ないことを洞察した、爲めに植民地尙その分類の第二類に屬する我々をして階級運動等といふ小兒病的幼想を棄てゝ（これは確にうそだ、レーニンはかへつてこういふ思想と戰つたのだ——筆者）民族的單一戰線を結成して民族運動を支持することを當面の任務とした。

レーニンがこういつたのみでなく我々自體をも現實を科學的方法で分析すれば自信を得られる」（同上第五回）

「無產階級がすでに重要構成要素と云つたのは架空の獨斷だ」（同上第五回）我が果敢無比なる盧北煥氏は「間接的指導でなく直接的指導をせねばならぬ」と言つた、これは何を意味するか？　即ち指導權を表示したものだ、これは戰線を破壞する「タクチク」諸策を暴露する反多數派的行動でないから、どうすることも出來ない」そうした表示がどういふ影響を及ぼすか？　單一戰線形成中にある現過程に於てそういふ表示は、民族主義者達をどの位疑惑し、どの位の反感を持たせた？」我々の最後の任務はヘゲモニを戰ひ取ることに有るとでも言つたなら觀念論的であつても主從に忠實であることを告白する意味からして聞いて置く必要がある、しかるに彼自身の言ふことに依つても新幹會は媒介形態で、黨ではない。又は協同戰線が形成される過程にあるもので、未だ形成されてゐない、又は未だ統一した行動も展開され得なかつたといひながら、形成中にある單一戰線內で、出來もしない前から覇權爭ひなど！　話そうとしても話にならないことではないか、これは明かに囈語でなければ寢言だ、出來もしない前に覇權爭ひをしようといふことは即ち民族單一戰線から分離せよといふことではないか？　分離主義者は分離して行け多數派は單一戰線を支持する」（同上第三回）

（三）以上引用文に明かに表はれた如く彼等は協同に醉ひつぶれて、獨立の任務を完全に忘却してゐる、故に彼等は階級運動を幻想といひ、過去を後悔して、階級概念の拋棄を强要し、社會運動は地下室へ追ひ込まうと悲鳴をあげるに至つたのだ。協同戰線の戰術はブルジョア共の感情に觸れない、やうにあらゆる發言、批判、行動を拋棄するにあると思はれる。

その傾向の克服が朝鮮社會運動にあつて重大問題である、だがそれは一九二七年に提出されたにすぎない、その解決——即ち克服は一九二八年に時間的關係からやむを得す繰越した。（東亞日報）

## 進め社だより

### スパイ征伐

日本無產階級運動の上に定期的襲來するところの低氣壓『曉の手入』が我が無產階級の全面的進出を機會に又訪れて來た。此の前の『曉の手入』の水先き案内を行つた阪口某と云ふ犬の飼主であつた佐野某と云ふ奴は、餘程鼻の利く奴とみへて、手入れのあることを早くも嗅ぎ付けて、安全地帶へ逃げて仕舞つたのであつた。彼奴は鼻が利くばかりでなく、暗いところも見へるとみへて、暗いところの見透しを付けてヒョッコリ歸つて來たのであつた。今度のＸＸれにも彼奴は早くも鼻を嗅つてドロンを極めている、恐らく何處かで暗いところの見透しを付けているであらう鼻が利いたり、暗いところが見へたりするところをみれば、彼奴もまた犬であるかも知れない。此の犬は、今度逃げるときに、吾々のことを『ユスリ』だとか、『ゴロツキ』だとか、『不可解なる人物』だとか遠吠へに吠へながら逃げて行つたが、凡んな犬が吾々の陣營に居て低氣壓の水先き案内をするから、吾々が如何に要塞を積み上げても常に押し流されるのだ

無產階級運動は人間の解放運動だから吾々の同志は人間に限るのだ、畜生は同志に持つ必要はない。我々は、鼻の利く、暗いところの見へる、人間の皮を被つた、同志面した犬を吾々の陣營から放り出して仕舞はねばならない。（源藏）

政戰で島根に大阪にと飛びまわつて居たが結極は敗軍だつた。今一息で、けれ共組織大衆以外數千の同志を得た事は全無產階級の爲にも恩師福田氏の爲にも喜んで居る我等はこの光榮に報いるに益々決死的奮鬪を誓ふものである。今は東京本部に居る鞭撻下されん事を希ふ。（久坊）

全國農民組合戰線統一問題も具體化して來た。我々は今安政のＸＸＸに比すべき支配階級のＸＸＸ政治に對抗し、彼等を完全に克服して、農民と勞働者の自由王國の建設の爲に必要なる戰術の確立に此の亂れに〱し戰線を可及的急速に統一に進軍しようではないか。宗派主義を排せ!! 勞農戰線を統一しろ!! ＸＸ支配者政治を倒せ!!（大谷）

政府の彈壓は、先に岡谷に襲ひ、野田を荒し、今や足尾坑山にのばされて來た。春めぐらんとする足尾の地は、雨か嵐か。進め社同人、上杉君は、二十三日急援戰地に向つた。古河王國をたゝきつぶせ。血と涙によつてきづきあげられたる足尾の組織を斷じてこはすな。

勞農黨が『進め』社本部の隣りに移轉して來た。勞農黨の看板を掲げないから『進め社』を勞農黨と間違へて訪れてくる。勞農黨員なら、勞農黨と『進め社』が、犬猿たゞならぬ仲である事は分る筈だ。察するところ勞農黨員も區別がつかぬと見える。

二十三日の夜、建國會が勞農黨の前で小供の樣な眞似をして暴れ廻つた。しかし、建國會などは民衆の方が蛇の樣に嫌つてゐる。

政府は特別議會は切拔ける事に腐心してゐる。民政黨は表面はえらさうな事を云つてゐるが、最後のドタン場になつてどう妥協するか分らない。無產黨はあくまで政府を倒せ。民政黨を利用せよ。……（神原）



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 無產運動講座

# 資本主義・社會主義

神庭仲之助

### 序論

この講座は一昨年の春書いたもので、其後長く埋れてゐたが、淺野研眞氏に依賴した「唯物史觀」講座が、氏の都合上貰えなかつたので、取急ぎ引出して連載する事となつた。色々不滿な點、足らざる點があるけれども締切日の事で訂正する追がなかつた。來月號より、訂正して載せたいと思つてゐる。小みだしをつけなかつたので讀みづらひと思ふが、これも御許し願ひたい。(神庭)

地球上に人類が生存し始めてから、隨分長い時の經過があつた。ある時は、自然的な變化を餘儀なくされ果てもなき移住をせねばならなかつたであらうし、ある時代は猛獸の來襲と戰はねばならなかつた。人間は常に社會的動物である社會的生活をする事によつて、自然的變化に適應する事が出來、野獸の來襲に打勝つ事が出來たのである。人間の無限に發達する智慧の果は人類の社會生活に及ぼす外的な及び内的な諸事情に刺戟されて發展して來た。人間は耕作の方法を考へついた。耕作に用ふべき種々な道具を造つて來た。最近に至つてはつい三十年前迄は考へても見なかつたであらう所のラヂオの如き精巧な機械すら發明されてゐる。昔は水盃をして遠い旅立をしたものであるが、現在においてはどうであらうか轟々と音響を立てゝ走り行く汽車に乘れば一夜の中に、昔何十日もかゝつた目的地へ着く事さへ出來る。幾百里の父母に短時間にして電報を送る事も出來る。現代は正に文明の華を集めたが如き觀がある。しかし、現代の文明はたゞ社會の表面を淺く飾つたに過ぎない。晝を欺く電燈の光は都會の夜の空を染めてはゐるが、其處には數知れぬ人間の生存の苦しみの埋れてゐる事を知らねばならない。大なる家屋は人氣も無く靜まり返つてゐるのに、眠るに家なき澤山の人がある。富豪の倉庫の中では如何に食糧品が腐敗する程あるにかゝはらず、飢えたる民衆が夥しい數に上つてゐる。貧乏、飢餓は遂に社會に犯罪を多からしめてゐる。日々の新聞は如何に生活苦による自殺、墮胎、竊盜の記事を揭げてゐる事であらうか、かうした半面を否大部分を包藏してゐる現代の文明は決して眞の文明ではないのである。何故なら現代の文明は貧乏を社會に多からしめ、利益を得享樂する者は一部少數の富豪階級のみである。それならば現代文明を造つたものは誰れであるか、誰れが一番餘計に貢獻したかと云ふに、決して少數の特權階級にあらずして無產階級である。無產階級の汗と膏によつて、大會社は建造され、公園は造られ、交通機關を動かす事が出來たのである。然るに矛盾の甚だしき機械の發明は失業者を增大せしめ、最も社會國家の爲に盡力した勞働者は弊履の如く捨てられる。則ち現代の文明は病的な文明である。眞の文明とは人類共存共榮を實現したものでなくてはならない。故に今日に於る吾々の努力は如何なれば、万人に幸福をもたらすべき社會に改造せねばならぬかにかゝつてゐると思ふ。

現代文明は資本主義文明であると稱せられてゐる。資本主義文明とは、階級對立の社會の上に咲出た文明である。資本主義社會の諸研究は第一章において說くつもりであるが、此處においてもざつと簡單に述べて行かう。マルクスに從へば資本主義社會とは階級社會の最後の形態であると論じてゐる。そして資本主義社會が××すれば、次に來るべき社會は万人共同共榮の、後に述べるであらう所の社會主義的社會でなければならぬ。しかし、吾々は問題をそう簡單に考へてはならない。資本主義倒れて××××的社會へ進むには社會的必然にもよる事は勿論だが無產階級の必死的努力をせねばならぬ事も深く考へておく必要がある。資本主義が崩壞すれば、直に××主義が實現される譯ではない。過渡期即ち、建設時代があるる。この政治的表現はプロレタリヤ××の時代である。

扨て後に歸つて資本主義社會の特質を一通り諸君に了解して貰つて論展の準備とした い。資本主義的社會とは前にも云つた様に階級對立の社會である。勿論、階級對立の社會は、資本主義に限られた譯ではなく、遠い以前からあつたのである。ある者が他の者の勞働を搾取して生活して行く様になつてからは完全に階級社會が頭を擡げて來たのである。この他の勞働の搾取と云ふ事は、人類の技術が漸く進歩して自分の生存に必要な分以上に生產した時から初まつたに違ひない。何故なら、一人働けば一人分の食物すら取れなかつた時代には搾取する事は出來なかつたからである。

宗敎上の信仰や、戰爭による捕虜等かうして階級社會は初まつた。初めは極めて微々たる搾取から次第に大仕掛な搾取が初まつて行つた。殊に文明の發達に連れて搾取關係それ自身が次第に文明の衣を着て來た事は注目に價する。しかし、文明の衣冠を着た事によつて搾取が徐々として稀薄になつたかと云ふとそうで

はないむしろ、搾取關係は廣汎な範圍に手を擴げ、民衆のすべてはこの資本主義社會に生存する限り必ずこの魔の手に抱かれずにはゐられぬ。吾々は一例として、遠い昔の事は云はない徳川幕府時代の搾取狀態を考へて見よう。その時代においては、武士階級の奢侈逸樂の爲には、どれだけ澤山の農民が泣かなければならなかつたであらう。自分の一年分の食糧もないに關らず澤山の年貢を出さなければならなかつた。その上彼等は農業が引合はないからと云つてその土地を逃げて行く事は出來ない、重い罰則さへあつた。彼等が重い年貢のかゝつた土地を拋棄するには最愛の女房さへその田につけて棄てねばならなかつた。そうした田を間男田と云ふのである。もし、闇々と云へば武士の一刀は承知しなかつた。極めて非自由な即ち農民を無理に農地に縛りつけておいての搾取ぶりであつた。資本主義文明政治の搾取ぶりは文明の衣を着てゐる。被搾取階級は何時でも仕事を變へる事が出來る。彼等は秘かに自由を獲得してゐる。しかしそれは飢餓の自由である。若し生きんと欲せば搾取され資本家のふところを肥さねばならぬ。徳川時代は一刀の水もしたゝる光りによつて搾取を可能ならしめてゐたが、現代は飢餓の自由をもつて是非でも民衆をして搾取關係に引込まずんばおかぬ。

　徳川時代の搾取は直接的な亂暴なものであつたが、現代のそれは支配階級が手を拱いてをれば自然的に民衆の方からころんでくる。しかも、その搾取の方法は徳川時代の直接暴力的なりしに反して、種々なる方面から合法的に手を換へ品を變へて攻めたてゝくる。試みに農民を例に取るならば、直接に地主による小作料の徴收、都會からの商品による搾取、或は××を通じての資本家階級の搾取等々⋯⋯

　現代社會は所有權萬能の社會である。赤裸々な所有權があたりかまはず傍若無人の態をして橫行する社會だ。一度小作爭議でも起したならば、所有權の逆鱗に觸れて土地は取上げられて了ふ。先祖傳來耕して來た土地は地主の手に握られて了ふ。昔は小作爭議でも起したならたちまち首が飛んだものだが、流石は文明時代だけあつて偉いもので、命あつての物種である首は飛んでゆかない。しかしながら一片の解約書によつて土地を取上げられてどうして生活して行く事が出來ようぞ。彼等は遂に住みなれた故郷の山河に別れを告げ、祖先の墓がすゝきや茅にうづもれ荒るゝにまかせて遠く都會へと流れて行かねばならない。扨て住み馴れた故郷に別れを告げて出て來た都會は果して農民を慈愛ある目を持て迎へて呉れたであらうか。五十年や三十年の昔ならいざしらず今は文明の粹を集めたと誇る都會には、如何に勞働をしたくとも、勞働する所の無い失業者、即ち勞働浮浪者の群が多い。彼等は一ケ所でも仕事の口があると發表されたなら、忽ち雪崩を打つて殺到して來る。こんな狀態に沈倫しつゝある都會に出でゝ、右も左も分らない田舍者には容易な事では職が見つからない。しかし身一つではなくして一家を擧げて出て來た場合などは想像に餘りある。[illegible]は食はんが爲めには操を賣らねばならぬ程の境遇に陥る。墮落の一歩が初まるのだ。こうした勞働力供給の增加は資本家にとつてはもつけの幸ひである。

自分は何時でも仕事をして呉れる人を澤山知つてゐる。愚圖々々云ふようなら止めて貰ふ。資本家はこう云つて安々と勞働者の地位向上の運動を阻止し、賃銀の下落を企てるのである。即ち勞働豫備軍は有職勞働者を恐威しつゝあるのだ。之が果して文明の世か。國民生活の安定があつて初めて文明の花は咲き盛るのだ。風前の燈火の如く危き否眞に眞暗闇となれる國民生活の現狀を目して文明の時代とは決して云ひ得られないのである。生活の不安！失業者の續出、引いては犯罪の增加等々の嫌惡すべき社會相こそ實に資本主義文明の必然の結果である。資本主義文明とは、民衆の爲めの文明ではなく、一部資本家特權階級の文明である。一般民衆の貧困を前提として成立する不自然な不安な文明である。資本主義社會は大衆を貧困に陥らせて發達する。あらゆる產業は、政治宗教に至るまで實權は凡て少數階級が掌握して、よしそれが國民生活に必要缺くべからざる產業でも、資本家の私利的打算の如何によつて左右されて了ふ、大衆が如何に寒さにふるへてゐようとも、貧乏の爲めに實際購買力がないならば、資本家は生産過剩であると生産品を倉庫の中へ投げ込み、亦勞働者は馘首されて街頭に押出される。如何に民衆が飢へて泣かうとも、よしそれが如何に不道徳な行爲であつても資本家は自己の利益を見る爲めには小麥を海中に投じる事さへも敢て辭さないのである。資本家の富を作る者は一般民衆であり、民衆を搾取し貧困に陷らせるものは×××である。兩者は必然的に相對的關係を有せざるを得ない。階級對立し相闘ふ。洵に歴史は階級闘爭の歴史である。徳川時代に於ける百性一揆、現代に至つては勞働爭議或は全國の農村に勃發して止まざる[illegible]小作爭議、いづれも階級闘爭ならざるはない。この階級闘爭こそ、資本主義社會の矛盾の一表現である。階級闘爭を目して、一部危險思想家の宣傳煽動の爲なりと云ふ如きは事物の本質を辨へざる議論たるや論をまたぬ。吾等無産階級はたゞ團結する事によつて資本家と抗爭する事が出來る。資本家と正當な契約を結ぶ事が出來る。然るに矛盾も甚だしき、「自分は一人々々の勞働者と



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

契約したのだ、多數をもつてするは恐迫にも等しいではないか」と資本家階級は云ふ。もし資本家の言をもつて正しいとせんか、勞働者一人々々の資本家との交渉は宛かも赤兒と大人との角力の如きものである。大なる金權と、政治的力を有する資本家と、無一物のたゞ自己の肉體を財產とする勞働者とは到底比較にならないのである。契約は對等の立場に立つてこそ初めて理論上正當なり得る。資本家の力に對抗し對等の立場を與へるものはたゞ團結の力あるのみ。この團結の力を奪はんとするが如きは非理も甚だしと云はざるを得ない。

兎に角繰返し前述せる如く現時の文明は一見甚だ不思議なる文明である。啄木の歌にある如く、『働けど働けどなほわが暮し樂にならざりぢつと手を見る』とは現在の勞働者の何人でも親しく體驗する所である。一方には働いても働いても貧乏する階級あれば、一方には遊んでゐて勞働者の夢想だにする事の出來ない程の金の音を聞いてゐる階級がある。不思議と云へば不思議である。しかし是を詳細に檢討して見るならば何人も成程と了解する事が出來るであらう、吾人はこれを次章「資本主義の解剖」の中へやゝ丁寧に書いて見るつもりだ。

尙一言注意しておかねばならぬ事は現在吾々が攻撃してゐる資本主義社會は、その初めから即ち其の成立當初から人類に恐い影響を與へてゐたものではない。資本主義もある時期迄はその精華を發揮して社會の爲めにつくしたものである。例へば機械の發明による大產業の發展、交通の擴張、教育の進歩その他數へ來れば枚擧に遑がない程隨分人類の爲めに貢獻したものである。しかし、この資本主義は何時迄もその精華を發揮する事は出來ない。丁度人間が若い時は元氣で仕事をするが、年老つて來るにつれて仕事が出來ないと同じ樣に、資本主義の長所も種切れになつてくる。世の中の進歩と適合して來ない樣になつて來る。否適合しないのみに止まらず、反つて文明を阻害する樣になる。昔は社會の爲めに喜ばしい福音を與へてくれたが、今では反つて社會の爲めに呪はしいものになつてゐる。そこでこの資本主義制度を改造してもつと人間の爲めに住みよい社會制度を建設しようとする運動が起つて來るのは必然だ。この運動の主人公は資本主義の生んだ子供である。子供と云つても當の子供の樣に可愛がられた子供ではない。虐げられて來た子供である。それは恐らくひどい目に會つた子供である。子供達はこの虐待に堪へ兼て反逆の運動をする。近世の社會運動とは即ち是だ。その子供とはプロレタリヤの事である。プロレタリヤこそは資本主義の成立と共にこの世に生れ出で、資本主義の進行と共に増大し、資本主義の爛熟期に入ると同時に愈々擴大し甚だしき貧困と墮落を餘儀なくされる人間の大多數を意味する。何故にこのプロレタリヤは増大するであらう。激しい生產品の増加、機械の發明、敎育機關の完備があるにかゝはらず何故にプロレタリヤは増加するか。この問題の解答は極めて簡單である。即ち前に再三述べた通りに現在の生產機關は資本家の私利の下に所有されてゐる限り、機械の發明などは反つてプロレタリヤの爲めには失業の惱みを感じさせる。資本主義社會においては機械の發明は反つて文明を阻害してゐる譯である。人口は年々増加して行き、一方小經營者は大經營の爲めに壓迫されて中產階級の人々はプロレタリヤ階級の中へ必然的に落込まねばならなくなる。プロレタリヤは増大せざるを得ない。プロレタリヤ階級の中には種々なる職業が交錯してゐる。小作人、工場勞働者、小賣商人、月給取、山坑勞働者、船員等に、これらの人々は誰れも資本主義の暴壓には苦しめられてゐる人々であるから、資本主義制度を改造して、新しき社會を建設して行かうと云ふ事には贊成する。

然らば資本主義社會を葬つて新らしく造るべき社會とはどんな社會であるか。これは吾々が第三章以下において述べんとする××××の社會である。社會主義と云へば驚く人がざらにある樣だが、是れは甚だしき誤解であつて、社會主義こそは資本主義社會の惡弊を一掃して、地上に万人共同共榮の樂園を現出せしめんとするものである。然るに世人は往々にして社會主義を敵視するはブルヂョアの逆宣傳に醉はされてゐるからである。資本家に取つては資本主義社會は天國である。遊んでゐて深山の勞働者の働いて來たのを搾取りして樂[illegible]に暮せるからである。もし社會主義の世になれば自分等の××は（これも無產者を搾取する事によつて得たものだ）社會の財產となり誰彼の差別なく勞働しなければならないから、社會の平和や人道などはクスリにもしたくない彼等は反對するのは當然の事である。彼等は云ふ『社會主義は社會の秩序を亂す』と彼等の云ふ社會の秩序とは搾取の出來る都合のいゝ秩序を指してゐるのだ。社會主義はそんな大衆の貧乏をもたらす社會秩序は×××××××してやりたいのだ。資本家階級は現在においては何と云つても政治上の權力を握つてゐるから、或は警察に命じて、或は宗教や教育の力に頼つて、極力自分等に都合のいゝ秩序を紊亂する社會主義を非難し繫縛する。時によつては恐るべき慘虐を行ふ事すらある。過去において社會主義者はどれだけ牢獄の中に呻吟した事であつたろうか。大震災の時には幾人かの社會主義者が空しく彼等の劍のサビになつた。

しかし、今や民衆も自覺しつゝある。



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

又こんな考へをもつてゐる人もある。自分がプロレタリヤであり乍ら、下らぬ虚栄心からプロレタリヤ運動を嫌つてブルヂョアの尻に随つて行く人がある。これ位馬鹿げた考へはない。自分はプロレタリヤでないと自慢してをつても誰れもブルヂョアだと思ふ者はない。自分がプロであるなら、プロらしくプロの運動の中へ飛込んで平和な住み心地の好い社会を作る為めに努力したらよいのだ。こんな謬つた虚栄心を持つてゐるのは俸給者階級に殊に多い。彼等はこう云ふ風に考へてゐるだらう。

「自分は洋服を着て堂々たる大建築の美しい事務室の中で事務をとつてゐる。普通の工場労働者の様に煤煙と塵によごれて、きたない着物を着て働いてゐないのだ。」と、成程一見上品な服装をしてゐる事は感じてゐる。しかし、果して彼等の生活は安定してゐるだらうか。否々、彼等もプロレタリヤの一員である。何時馘首されるかも知れないのだ。安い月給は安心な月日を送る事は許さないのだ。

社会主義的諸精神はかの一部の支配階級の唱へる如くある少数の危険思想家によつて考へられたものではなく、實に社会的条件の必然性が生んだのである。社会主義社会に於ては万人の為めに即ち社会の必要の為めに生産は営まれるであらう。これに反して現在に於ては如何に生産を万人の為めにする機能を社会が有してゐても、××××制度の為めにその貴重なる機能は阻害され、発揮する事を許されないのである。資本主義社会が生産力を増加したのはもう昔の歩、今はすでに所謂生産力に對する桎梏と変つたのである。社会主義者は資本主義制度のものは何もかも××して了ふかと云ふとそうではない。資本主義の利益ある方面は継ぐ、組織する。社会主義は個人主義的社会組織や、それを擁護する教育方針等は××するが、大工場による大量生産等の方面は社会主義は盛んで受け入れる。資本主義治下の工場労働は苦痛だつたが、×主義社会の労働は何人にも苦痛を與へない。何人も自由なそして平等に嬉々として労働し、自らの為めに生産して自らの為めに蓄積するのだ。資本主義を擁護する人々の間から、こうした新時代の労働に對して種々なる悲観論や反對論を聞く事がある。しかしそれは恐るゝに足らぬ。この種の悲観論に就て第三章以下に於て徹底的に反駁するつもりである。

資本主義のこの死物狂ひの努力にもかゝはらず一般民衆の資本主義に對する不信任の念は時の経過と共に益々高まつて來た。直接に社会主義に就ての憧憬はなくとも、新らしい制度を漠然と求めつゝある。資本主義社会に民衆は住み疲れたのである。

（この項終り）

## 討伐同盟を守れ

全國の進め同志諸君

我が進め社の主張第五項、「社会運動を擾乱するあらゆるものを討伐す」とあることは既に御承知のことゝ思ふ。嘗て我が社同人は大正十三年、計らざりき吾等の敵を味方の陣営内に発見し、彼の有名なる「討伐」運動を起したことがあつた。然るに、それより半昔を過ぎし今日、吾等は、不幸にも再び味方の陣営内に吾等の敵を発見したのである。

此の敵たるや資本主義者と稱し、労働農民黨なる無産政黨の内部の一角に巣喰ふところの、所謂宗派的分裂主義者の一團である。

尤も我が進め社では從來屢々彼等分裂主義者に忠告するところありたるに、ブルジョアイデオロギーに禍ひせられたる彼等は遂に省るところなく、過般の總選挙に際しては、其の毒牙を、我が進め社関係の同志等に、意識的に向けて來たのであつた。

我が進め社では彼等福本主義者に對して世上兎角の風評あるも、多寡が有産者的イデオロギーに出發している幼稚なる——と云ふよりも罪のない革命説を以て、彼等青二才の書生共に何が出來るか、益なきことは無論なれども、従つて何等の弊害もなきものと寛恕して居たのであつた。

ところが何ぞはからん、幾千年の久しきにわたつて、傳統的に根強く民衆の臓裡に侵透していて、彼等を支配している有産者的観念は、遂に彼等青二才共の把持する宗派的分裂主義の疫病の黴菌に侵さるゝに至つた。無産階級運動の陣にとは云ひながら、有産者的制度の下にある現代社会の民衆は遂に彼等有産者的観念論者の革命家を、自己の陣營内に蟄居せしめるに至つたのであつた。

斯くして労働農民黨なる無産政黨内部に這入込んだ彼等は、有産者的観念の代表的特権たる其の自惚れから、僭越至極にも我が進め社に迄挑戦して、彼等ブルジョアジーの走狗たる役目を果さんとしたのである。

彼の獅は敵に對しては、例へ其の敵が猫であつても、兎であつても、満身の全力を注して闘ふとか。吾等も、例へ相手が青二才であつても、敵である限り徹底的に絶滅を期す可く戦はねばならぬ。我が社は今回の労働農民黨の分裂主義の我が社への挑戦を切機として、我が無産階級の戦線の統一の為めに、戦線の攪乱常習者たる彼福本主義者を討伐すべく、此処に「討伐」同盟を結ぶ。

此の「討伐」同盟結成の為めに、わざ〳〵上京せられた同志諸君、激励文を寄せられた諸君等に厚く御禮を申上げる。

全國の進め同志諸君

我が進め社「討伐同盟」の事務所の机の上を彼等分裂主義者の罪科の報告書を以て山積せしめよ。

——源——



Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

童話

# 番人と泥棒

松本淳三

これはテレショウが書いた話の一節です。

ある冬の晩のことです。

番人はなんだか變に眠られないので、ことり〳〵と裏庭の方を廻つてみますと、納屋の方に當つてギー〳〵いふ音がしました。

で、不審に思つて、さうツーと近づいてよく見ますと、丁度一人の泥棒が錠をこわしてゐる最中です。

さあ番人は吃驚しました、が前から人一倍力の強いことを自慢にしてゐた番人ですから、いきなりその泥棒の首筋をぐつとひつ摑んで、

――貴樣！な、な、何をするんだ！

すると泥棒はあつと一聲叫んだまゝ、少しも抵抗しない計りか、あまり首筋をひどく絞られたものですから、ものを云ふことさへ出來ないのでした。

しかし番人はこんなこそ泥棒を相手にして、大騒ぎするのも馬鹿々々しいことだと思つて、その儘交番へおつ立てることにしました。そして、

――歩け！と云つてぐひと泥棒の首をつき出し、その後で念の爲めにつけ足しました。

――愚圖々々云つたり抵抗ひしたりすると打ち殺すぞ！

杉垣を右に曲つて、二人は裏庭の外へ出ました道は別荘の前を通つて、野原に出て、それから鐵道線路に沿ふてゐました。

空には星が光つてゐました。

番人の恐ろしく硬い大きな手は、泥棒の首に食ひ込んだやうになつてゐるので、抵抗することも逃出すことも出來ないので、暫らくの間は盜棒は實におとなしく歩いてゐました。

が、やがて、

――番人さん……ね、ね番人さんゑ。

ふいに盜棒は優しい聲で話しかけました。

――もう少しゆるく摑んで下さらんか、これぢやあ全く息が苦しくてかなひません。私は決して逃げも隱れも致しませんから、どうぞも少しゆるく摑んで下さらんか。

番人はなるほどさうかも知れぬと思つて、默つたまゝ、少し指の力を拔いたのです。

泥棒は一寸立ちとまつて、ほつとしながら、頭を二三度左右に動かせました。

――ありがたう御座いました。

――歩け！

二人は默つてまた暫らくの間歩きました。二人の足音だけが四邊へ響いてゆきます。

と、また、

――番人さんえ……番人さん……

――なんだ！

――私はほんのたとへに一寸云ふだけですがね世の中にもし盜棒がゐないとしたら、ほんの一人もゐないとしたら……泥棒といふ名前も全くないとしたら……

――さうしたら？

……さうしたらですね、番人さん、貴方は何を爲さるでせうねえ？……つまり貴方はどんな仕事をなさるでせうねえ？……

番人は泥棒が云つてゐる言葉の意味が分らないので、この世に泥棒が居ろうが居るまいが自分は自分だ。自分と泥棒との間に關係は少しもないんだ。……さう思つて、

……くだらないことを云はずにさつさと歩け！

泥棒は前、番人は後から、二人はまた暫らく默つて歩きました。

ほんのたとへに云ふだけですがね、……もしこの世の中に一人も泥棒がゐないとしたら、貴方はほんとうに何を一體爲さるでせうねえ？……

番人は變なことを聞く盜棒だわいと思ひながら、何とも答へずに默つてゐました。

……もし泥棒がゐなかつたら、番人もゐない譯だと私は思つてゐますがね。

しかしそれでも、番人は矢つ張り默つてゐるものですから、泥棒はまたその後をつけ足しました。

……ですから泥棒は貴方に取つては友達だし、また恩人であると私は思ひますがね。

――なるほどな。

番人は始めて泥棒の云ふ言葉が分つて來たの



Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

で、自然にその足をゆるめて、泥棒の云ふ言葉を前よりも注意して聴き出しました。

——もし私達のやうな泥棒がゐなかつたら、番人なんていらぬ譯です。ですから貴方は番人としてのお給金なんか、貰へない譯だと思ひますがね。

番人はそつと溜息を洩らしました。

——泥棒がゐなければ番人といふものはたちゆかない。そりやあ全く無用の長物のやうに思へますがね、どうでせう？　さうぢやあないでせうかね？

この思ひがけない言葉に出合つて、番人は急にその場に立ちとまりました。そして默つて睨むやうに泥棒の顔を見ました同時に、

……なるほど、さう云へば確にさうだな、……泥棒がゐなければ番人はいらぬ譯だな……なか〳〵うまいことを云ふ奴ではある！

と、ひどく心の中で感歎しました。

けれども、番人はまたその次ぎの瞬間には——いや〳〵、そんなことは理屈の理屈だ、世の中のことはさう理屈通りて行くものぢやあないと、自分で自分に教へてから、

——さあ歩いた！

思ひ出したやうにまた泥棒をせき立てました、が、その聲は前よりよつほど不思議に優しくなつてゐました。

二人はまた默つて歩き出しました。

道はかん〳〵に凍つてゐました。レールは赤黒くずつと何處までも延びてゐました。時々それも遠いとこから、犬の鳴き聲が聞へてゐました。

——また泥棒の話ですがね、まつたくさうぢやあないでせうかね？……泥棒があつて始めて番人といふものがある譯です、もしか泥棒がなくなつたら、番人は早速いらなくなる譯です。ですから番人にその日〳〵の、御飯をたべさせて呉れるものは、一寸考へると主人のやうにも思へますがね、しかしよく考へるとそれは主人ではなくて泥棒ではないでせうかね、え？……番人さん？……よもや貴方は泥棒がゐない時でも、主人が貴方を雇つて置くとはお考へになりますまいが？

泥棒の云ふかうした理屈は、番人にとつてはあんまり嬉しいものではなかつたのです、しかし、確に正しい理屈だ！　番人はだん〳〵その理屈に參つてしまつて、泥棒に氣づかれないやうにまたも溜息をそつとしました。

——それならばですね、番人さん——から云つちやあ失禮かも知れませんがね、貴方が生きてゐらつしやるのは、全く泥棒のお蔭だとしか思へません。ね、泥棒はみんな貴方がたの恩人なのです。そして友達でもある譯です。ですからこの私がもしも番人であつたとしたなら、私は泥棒の爲めに神様にお祈りとこそすれ、決して交番へおつ立てたりなんかしないでせう……。

番人は矢張り默つて聞いてゐました。しかしなるほどこの泥棒は愉快な男だ。なか〳〵云ふこともしつかりしてゐる。こんな人間をわざ〳〵警察へつき出すのは、なんだか可愛さうなことでもある——さう思ふと、どうしたらいゝかに迷つたのです。

と、またも泥棒は靜かな調子で、

——ね、番人さん、よく考へてみて下さい。私は貴方の敵では全々ない筈です。また貴方だつて決して私の、敵ではないやうに考へます。……ねえ番人さん、此處で仲よくお別れしやうではありませんか、え？……番人さん……此處で氣持よくお別れしましやう、どうも貴方も私も同じやうな人間です。同じやうな貧しい人間です。また何處で助け合はなければならない二人かも分りません。人間はお互々に自分の立場をよく見詰めて、それがもし味方同志であるなら、なる丈け相手を傷つけないやうに仲よくしやうではありませんか。

これを聞くと、番人はいよ〳〵參つて、この泥棒を放してやらうか、どうしやうか？……と暫らくまたしても考へましたが、遂々このまゝ放してやることに決心しました。

——ぢやあ……此處で別れることにしやう、お前がこわした錠は明日朝俺がもと通りに直して置くから……

……えゝ、それではどうぞよろしくお願ひしますよ、また何處かでお眼にかゝりましやうから……

——ぢやあ……

——えゝ、ではこれでお別れしませう。

——まあ折角體を大事にしてな。

——ありがたう御座います、それではまた……

泥棒は番人の大きな硬い手を握つて、それから靜かに帽子をぬいでおじぎをしました。そしてすた〳〵と向ふへ五六歩歩いた處で、またも振り返つておじぎをしました。

番人は其場に立ちとまつて、だん〳〵暗がりの向ふへ消えて行くその泥棒の後姿を、默つていつまでも見詰めてゐました、いま泥棒の黑い姿が、全く見えないやうになつてからでも、番人は矢つ張りその場に立つてゐました。そして、

——もし泥棒といふ泥棒をみんなふん縛つてしまつたなら、一體番人はどうなるのだろう？……と、深くそのことを思つてみました。（終り）



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 進め社本部販賣書目

## 農民諸君に與ふ

神藤伸之介著(進め社パンフレット)

一部十錢　送料二錢

私は諸君が十六七の愛すべき年の少年であると假定する、諸君の或人の中には、小學校を卒業すると同時に、都會へ行つた人もあらうし、亦朝に夕に鍬を執る人もあらう、中等學校に通學する人もあらう。しかし、私は諸君に問ふ、諸君の胸には何等の理想があるか。諸君の父母は諸君の將來に對して何を望み、諸君は又如何なる志を抱いてゐるか。その原因の容るゝ所を知らなかつた事が私の悲しみである。

(附項の一節)

## 農村の經濟

行政長藏著(四六版上製函入)

總頁二百餘頁　定價金一圓五十錢　送料金拾錢

現今最も行き詰つた農村問題は從來の如き高踏的學説を求めるよりも具體的な解決方法の實現が急務である。本書は此の農村問題の焦點を捉へ、正しき經濟學の上より農村經濟の眞相を明かにし、ロシア、デンマーク、アメリカの農村經濟の實際を述べ、農村の一新識者の考究を促さんとするものである。

## 農民組合論

莊原達著(四六版上製函入)

總頁二百二拾餘頁　定價金一圓六拾錢　送料金拾錢

我國の農民運動は勃興日尚淺い。而かも其の發展は一般世人の耳目を聳動せしむる所のものがある。從つて之に關する著作も多く發表されたが、何れも農民運動の實際に即した系統的な理論を與ふるものではない。本書は此の點に存する缺陷を補はんとするもので、農民組合の基礎的概念を與へんとするものである。

【要目】第一章、緒論、第二章、農民組合の發生、第三章、農民組織、第四章、農民組合の財政、第五章、農民組合の目標、第六章、農民組合の本質、第七章、農民組合と政治運動、第八章、合法運動、第九章、地主組合、第十章、日本農民運動、附錄。

## 人口問題と産兒制限

安部磯雄著　四六版百三拾餘頁

定價一圓　送料八錢

人口問題・食糧問題或は産兒制限は如何なる方法に依り解決さるゝか總てを本書に聽け。

著者安部氏は社會民衆黨代議士として、無產階級の爲め身命を賭して戰はんとする人、敢て江湖にすゝめる所以である。

## マルクス寫眞集

進め社編

定價五十錢　送料四錢

マルクスは全世界の勞働階級の父であり、母である。マルクスの肖像を初め、マルクスを常に激勵し内助の功をつくした夫人、エンゲルス及びマルクスの住居、彼の墳墓、筆跡、その他を集めたるものである。無產階級はこの偉大なる指導者の眞の肖像をもつて書齋を飾らねばならない。大に其の風丰に接し、其歷史的使命を完からしめよ。

## 何を讀むべきか

淺野研眞著

定價二十錢　送料二錢

長らく品切れになつてゐたが、民衆諸君の要望によつて、改訂して發行することゝなつた。いやしくも新時代を知り、新思想を知らんとするものは何人と雖も一讀すべき書である。殊に現時の如く、發行書多く混沌たる時代にあつては、本書は一の指針書たるを失はないであらう。

## 農業と社會主義

平野學著(四六版上製函入)

總頁百八拾頁　定價壹圓三拾錢　送料金拾錢

今や農民は昔日の農民ではない。資本主義の搾取と壓迫とによつて、農民は猛然と起つた。農民の鬪爭は全國的に展開しつゝある。かくして小作爭議は激化し、農民組合は發展し、その運動は全國的組織を持つに至つた。しかし農民運動の理論的指導は未だ十分でない。本書は依然として科學的に社會主義の立場から農業の發展を明にし、農民運動の指導者に與へんとするものである。一、農業が社會化する方向、二、農村の將來、三、農業と社會主義、を叙し、農業の歷史的變遷を論じて如何なる組織の下に農民が救はれるかを提唱し、農村の將來を示して結論とした。

## 農民の歷史

稻村隆一著(四六版上製函入)

總頁百五拾頁　定價金壹圓　送料金八錢

過去の封建的なる日本農民の奴隷史、西歐の農民史、露西亞の農民の今後の研究に必要なる資料を集め、此の農民の慘めなる奴隷生活から解放されるに至る農民と無產政黨の過程を述べ、農民運動の實際に適切なる參考書である。

本書は日本の農民運動の現狀と將來の形勢を知らんとする人々の資料は無論のこと、農民と無產政黨の形勢をも知らしむるものである。

## 世界の農民運動

オイゲンヴァルガ著大西俊夫譯

四六版上製函入)總頁百六拾頁

定價金壹圓六拾錢送料金拾錢

本書は農民インターナショナルの會議に於ける各國の農民運動の報告を集めたる資料である。現在の世界の農民運動の實狀を詳述せるものである。著者オイゲン・ヴァルガは嘗てハンガリア革命政府の經濟人民委員長として活躍し、現にインターナショナルの農民委員として勤めてゐる人である。初版は「農民と無產政黨の國際形勢」と題して刊行されたが、發賣禁止となつたので、改題して漸く世に出づることを得たものである。

## 小作爭議の實際

杉山元治郎著(四六版上製函入)

總頁二百餘頁定價金壹圓五拾錢

送料金拾錢

我國の社會問題の中で最も重要なるものは農村問題であり、農村問題の中で最も重要なるものは小作問題である。而して小作問題は又小作爭議の問題である。其の小作爭議は何故に發生し、如何にして解決さるゝか。本書は著者が多年小作爭議の實際に關係して得たる體驗を基礎として小作問題の眞相を究め、其解決の鍵を與へんとするものである。敢て江湖の愛讀を乞ふ。

## 農民の文學

木村毅著(四六版上製函入)

總頁百九拾頁定價壹圓五拾錢

送料金拾錢

我國文藝評論壇に於て農民文藝の權威たる著者が、我國及び露西亞の農民文藝を攻究紹介し、之に批判を加へ、最後に眞の農民文學の明日への道を指示提唱せるものである。

【目要】

第一章、農民文學論、第二章、對外生活の表現、第三章、内部生活の表現、第四章、勞働から生れた文學

(附錄)歐洲農民文學の斷片的考察、第一章、トルストイの農民文學論、第二章、牧歌文學論、第三章、勞農ロシアの農民詩

婦人良藥
喜谷實母散
産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有
▲全國到る處に販賣す
本舖
東京京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門
電話京橋五五番 五六番

金.銀.白金
徳力商店
東京神田松田町
電神 25 {216. 235. 221. 976. 450.-(営業用)

無産大衆の戰闘的政治新聞
(週刊)
日本勞農新聞
讀め!! 眞の無産政治新聞を!
定價 一部 五錢 一ケ年 一圓五十錢
日本勞農新聞社
東京芝公園五號地
振替東京四六六四九番

今津博士發明の專賣特許藥

イマズの五大商品
●世界的に賣行の旺盛は品質の優良を語る●

衛生必需藥
イマズ蠅取粉
▲蠅、蚊、蚤。其他害虫の全滅藥
一磅入大罐 半磅入中罐 卅瓦入小罐

特製、南京虫用
イマズ蠅取粉
▲特に南京虫退治に調劑、効力、適確なり
一磅入大罐 半磅入中罐 卅瓦入小罐

農作物、害虫驅除用
イマズ殺虫劑
▲果樹、蔬菜、其他農作物の害虫驅除劑
一磅入大罐 七十五瓦入小罐

家庭園藝、害虫驅除用
イマズ殺蟲劑
▲石鹸を加用せず、その儘水に溶かして使用する様便利に調製、一般家庭の園藝用に至極便利
▲効力 普通イマズ殺虫劑と同樣
一磅入大罐 七十五瓦入小罐

▲芳香性、便所臭氣止
イマズ芳香油
▲撒布すれば、便所は芳香に滿つると同時に、防臭、殺虫、消毒の効力大なり
▲効力 カンプラ油、片腦油の二倍▲
四百五十瓦入

製造元
今津化學研究所
大阪市東淀川區三國本町

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可　昭和三年四月一日發行
第六年第四號　毎月一回一日發行
定價一部十錢（稅五厘）半年六十錢一年一圓（稅共）
發行所　東京市麴町區内幸町一丁目五番地（振替東京六八五三）進め社本部
發行編輯兼印刷人

東京上野　良品廉賣　銀座

松坂屋呉服店

大阪、日本橋　實用百貨　名古屋

東京京橋

清新な趣味と實用に綾なす

内外のあらゆる流行品豊富

地方よりの御註文は御手紙にて通信販賣係宛に御願ひ申します

三越呉服店

大阪市高麗橋